

第61回

全国植樹祭 かながわ 2010

森が育む あなたの心 森を育む あなたの手

記録誌



神奈川県

第61回全国植樹祭記録誌



神奈川県

御製

雨の中

あまたの人と

集ひ合ひ

苗植ゑにけり

足柄の

森に

御製

雨の中

あまたの人と

集ひ合ひ

苗植ゑにけり

足柄の

森に



発刊の言葉

(神奈川の豊かな森林に向けて)

新緑がまぶしい季節を迎えた5月23日、天皇皇后両陛下をお迎えして、第61回全国植樹祭を、南足柄市にある足柄森林公園丸太の森地区と秦野市の秦野戸川公園地区の2会場で開催いたしました。

当日は、あいにくの雨にもかかわらず、県内外から約8,300人もの皆様にご参加いただき、盛会のうちに無事大会を終了することができました。大会の開催にご尽力いただいた関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

さて、本県での全国植樹祭の開催は、今回が初めてとなりましたが、昭和24年には、昭和天皇、香淳皇后にご臨席を賜り、箱根町仙石原で「愛林日植樹行事」が行われ、これが全国植樹祭の原型となったと言われています。

神奈川県には、丹沢大山や箱根といった山々から、里山や市街地近郊の樹林地まで、実に県土の40パーセント近くを占める、約9万5,000ヘクタールに及ぶ森林があります。これらの森林は、水源の涵養や、二酸化炭素の吸収による地球温暖化の防止、生物多様性の保全、木材の供給など、私たちの暮らしにさまざまな恵みをもたらしてくれています。

その一方で、今、丹沢大山では、ブナやモミの立ち枯れが進行し、手入れ不足などにより、山地や里山でも森林の荒廃が進んでいます。

こうした中、第61回全国植樹祭は、大会テーマを「森が育む あなたの心 森を育む あなたの手」とし、50年後の神奈川の森林の姿を県民全体で共有し、協働して進める本県の森林再生の取組みを全国に向けて発信するとともに、こうした取組みを一層前進させることを目的として開催しました。さらに、できるだけ多くの県民の皆様にご参加いただき、本県の森林再生の取組みをご理解いただけるよう、神奈川県全体を全国植樹祭のステージとし、県内13市町にサテライト会場を設置して、市町と共に関連イベントを実施いたしました。

今回の全国植樹祭を契機として、先人が守り、育んできた、かけがえのない神奈川の森林を次の世代にも継承していくため、これまでの森林再生の取組みを一層推進し、長い年月をかけ、ぜひとも神奈川の森林の再生を成し遂げたいと思います。

結びに、第61回全国植樹祭の開催に当たり、多大なるご支援・ご協力を賜りました多くの皆様に心からお礼を申し上げます。

平成23年2月

第61回全国植樹祭神奈川県実行委員会会長

神奈川県知事 松沢成文

第61回全国植樹祭記録誌

目 次

御製	3
発刊の言葉(神奈川県知事)	4
開催概要	6
大会テーマ・シンボルマーク・大会ポスター原画	8
愛林日植樹行事	10
かながわ森林再生50年構想	11

第61回全国植樹祭

会場準備・参加者入場	12
記念植樹	14

南足柄会場

プロローグ～ようこそやさしさあふれる神奈川の森へ～	16
感謝状贈呈	17
記念切手贈呈	18
天皇皇后両陛下御到着	19
開会のことば	20
苗木の贈呈	21
天皇皇后両陛下お手植え	22
代表者記念植樹	24
アトラクション～森から人へ～	
森が育むあなたの心～Gift for you～	25
天皇皇后両陛下御退席	26
エピローグ～神奈川の木と関わる人々～	27

2会場連携セレモニー

～過去から現在へ、現在から未来へ～	28
-------------------	----

秦野会場

招待者入場時アトラクション	32
プロローグ～ようこそ都市と融和する神奈川の森へ～	33
天皇皇后両陛下御到着	34
三旗掲揚・国歌斉唱	35
主催者あいさつ	36
表彰	37
天皇皇后両陛下お手播き	38
アトラクション～人から森へ～	
森を育むあなたの手～Clap Your Hands～	40
大会宣言	41
リレーセレモニー	42
閉会のことば	42
天皇皇后両陛下御出発	43
招待者退場時アトラクション	44
サービス広場	45

作品御覧・レセプション

作品御覧	48
レセプション	49

サテライト会場

サテライト会場	50
---------	----

記念事業

苗木のホームステイ	59
森のリレーフェスタ	60
飾花プランターづくり (間伐材の活用と子どもたちの木工体験)	62
第61回全国植樹祭かながわプレ大会2009	63
かながわジュニア・フォレスター教室	64
カウントダウンセレモニー	66

関連事業

第39回全国林業後継者大会	67
森林循環フェア、水源林のつどい	68
成長の森事業、定着型ボランティア活動、 森林再生パートナー・水源林パートナー	69
会場市の取組	70

開催までの記録

実行委員会設立総会、第61回全国植樹祭実施計画の決定	74
会場整備状況	75
県産木材の積極的な活用	77
リハーサル	78
大会テーマソングの作成	80
広報計画	81
大会弁当・参加記念品	84
協賛計画	86
協賛者・協力者	87

開催後の取組

かながわジュニア・フォレスター教室2010	88
順調に育つ植樹会場の苗木	89

資料編

	91
--	----

開催概要

開催理念

全国植樹祭の開催を通じて、森林再生に向けた神奈川の取組を発信し、全国との交流を図ることにより、本県が目指す森林再生の姿と手法を、より一層確実なものにするとともに、県民協働のうねりを高めて、誰もが森林と積極的な関わりを持ち、その恵みを実感できる社会の実現を目指します。

理念展開イメージ

大会テーマ

森が育む あなたの心 森を育む あなたの手

第61回全国植樹祭展開コンセプト

神奈川県は、**発信 + 協働 + 前進** を形にして、
一歩先へ行く新しい植樹祭を展開

One Step, One Lead

一歩リードした 神奈川県を発信

神奈川県で行われた「愛林日植樹行事」は、全国植樹祭の原型をつくりました。神奈川県（先進力+協働力）を植樹祭に活かし、県と民、民と民の連携をつくります。

神奈川県民 一人ひとりの一歩が、 目指すべき森林を創造

森林再生に向けて踏み出す一歩の力を大切に、県民の行動を喚起します。

第61回 全国植樹祭を機に、 さらに一歩先へ

この大会をきっかけに、森林再生に向けた県民協働をいっそう盛り上げます。地域特性に応じた、50年後の目指すべき森林の姿をイメージしながら活動します。

開催概要

開催日：平成22年5月23日（日）

主催：社団法人国土緑化推進機構・神奈川県

開催会場：お手植え・植樹会場（南足柄会場）—— 足柄森林公園丸太の森地区（南足柄市広町）

式典・植樹会場（秦野会場）—— 秦野戸川公園地区（秦野市堀山下・戸川・横野）

荒天会場：秦野市総合体育館

サテライト会場：13会場

湯河原会場（湯河原梅林公園及び桜郷地区^{さくらごう}）、横浜会場（玄海田公園^{げんかいだ}）、小田原ふるさとの森会場（久野塔ノ峰山頂付近^{くのとうのみね}）、相模原会場（県立津久井湖城山公園水の苑地^{しろやま}）、厚木会場（若宮公園^{わかみや}）、小田原わんぱくらんど会場（小田原こどもの森公園わんぱくらんど）、山北会場（大野山山頂）、横須賀・葉山会場（湘南国際村）、伊勢原会場（伊勢原市総合運動公園）、川崎会場（生田緑地^{いくた}）、藤沢会場（引地川親水公園一帯^{ひきちがわ}）、海老名会場（海老名市役所周辺^{なかがやむら}）、開成会場（中家村公園）

開催会場

■ 足柄森林公園丸太の森地区 お手植え会場（南足柄会場）

お手植え会場は、箱根外輪山の北東に位置し、県立足柄ふれあいの村や足柄森林公園丸太の森に隣接する森林地域にあります。周辺施設は、子どもたちを始め多くの人々が訪れ、森林学習の拠点となっています。



■ 秦野戸川公園地区 式典会場（秦野会場）

式典会場となる県立秦野戸川公園は、丹沢山地の南に位置し、丹沢の山々から流れる水無川の自然を活かした都市公園です。丹沢山地への登山口として知られるこの地域は、多くの登山者や観光客が訪れ1年中にぎわっています。



■ 植樹会場

植樹会場は、お手植え会場、式典会場の近隣にあり、それぞれから徒歩で移動可能な距離にあります。両会場ともスギ・ヒノキの人工林内で「かながわ森林再生50年構想」の目指す森林再生の見本になるよう、多様な森づくりを行います。全国植樹祭開催後は、県民と協働して取り組む森林再生を象徴する県民運動の場として活用していきます。

足柄森林公園丸太の森地区



未来の森の姿

秦野戸川公園地区



未来の森の姿

大会テーマ

「森が育む あなたの心 森を育む あなたの手」

作者 宗像 洋明さん(横浜市)

シンボルマーク



愛称「かなりんちゃん」

作者 河野 通さん(大阪府)

制作意図

樹で「ハート」を高く掲げ、手で樹を大切に植える「かなりんちゃん」の姿を通して、第61回全国植樹祭の大会テーマ「森が育む あなたの心 森を育む あなたの手」を表現しました。愛称の「かなりんちゃん」は、神奈川の(かな)と森林の(りん)をかけあわせ、名付けました。



大会ポスター原画



画題「温かい緑」

作者 井上 美紀さん

(平成20年度応募時 県立小田原城北工業高等学校3年)

制作意図

テーマの「森が育む あなたの心 森を育む あなたの手」を表現するため、みんなが笑顔で、手の平に描いた葉の模様を見せ合っている所を表現しました。みんなの手でハート形がつけられていることで心を表しました。



愛林日植樹行事

全国植樹祭を神奈川県で開催するのは今回が初めてとなりますが、昭和24年に箱根町仙石原で開催した「愛林日植樹行事」には、天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、地元の大勢の方々にご参加いただきました。

「愛林日植樹行事」を神奈川県で開催した翌年の昭和25年に、山梨県で全国植樹祭の第1回大会が開催され、これ以降各都道府県の持ち回りにより毎年行われています。

この「愛林日植樹行事」をステップに、現在の全国植樹祭は発展したと言われています。



昭和天皇・香淳皇后両陛下



5,000 人を超える参加者が集まり盛大に行われました



昭和天皇お手植えの様子



香淳皇后お手植えの様子



植樹場所へ向かう子どもたち



植樹する子どもたち

かながわ森林再生50年構想

県内には、丹沢大山や箱根といった山々から、里山や市街地近郊の樹林地まで約9万5000㌥、県土の40%近くを占める森林があります。今、この森林が、丹沢大山でのブナやモミの立ち枯れだけでなく、山地や里山まで県内各地で、手入れ不足などにより荒廃が進んでいます。

県では、前の世代から引き継いだ森林の様々な恵みを子や孫に手渡すため、50年かけて、皆さんとともに森林再生の取組を進めていきます。

広葉樹林の再生

- 丹沢大山では、ニホンジカによる下草や低木の過度の採食を防ぎつつ、後継樹を育成し、多様な樹種による原生的な自然林に誘導していきます。
- かつて薪や炭の原木として利用され、その後放置されている山地や里山の二次林では、間伐を繰り返すことで陽光を入れ、周辺の多様な広葉樹を林内に導入するなど自然力を利用して、多様な樹種からなる自然林に誘導していきます。
- なお、土壌流出の著しい溪畔林などでは、自然力に頼るだけでなく積極的に広葉樹の植樹を行います。

人工林から混交林への転換

- 林道から200㍎以上離れたスギ・ヒノキの人工林では、間伐を繰り返すことで陽光を入れ、周辺の多様な広葉樹を林内に導入するなど自然力を利用して、混交林や巨木林に誘導していきます。
- なお、急傾斜地や、周囲が人工林ばかりで広葉樹の導入が期待できないところなどでは、自然力に頼るだけでなく積極的に広葉樹の植樹を行います。

人工林の再生

- 林道から200㍎以内のスギ・ヒノキの人工林では、間伐を行い、木材として利用するとともに、伐採後は、花粉の少ないスギ・ヒノキや今後実用化する無花粉スギを植栽し、複層林などに誘導していきます。

50年後のめざす姿と主な取組



第61回全国植樹祭

会場準備・参加者入場

あいにく、朝から小雨が降る天気でしたが、植樹を終えた参加者が続々と会場に入場してきました。



参加者が続々と式典会場へ集まる



県内外の特別招待者



式典会場に着席した大勢の参加者



お手植え行事の準備



本番前の入念な打ち合わせ



進行をチェック



記念植樹

植樹会場は、南足柄会場と秦野会場にそれぞれ設けられました。植樹は各会場の特性を考え、「広葉樹林の再生」、「人工林から混交林への転換」、「人工林の再生」を目指し、両会場で23種類、約9,000本の苗を、参加者が未来の森の姿をイメージしながら植えました。



植樹会場へ向かう参加者



指導員から説明を受ける参加者



斜面での植樹なので、すべらないように注意！



これから頑張って植えるぞ！



みんなで協力して植えたよ！

南足柄会場 プロローグ ～ようこそやさしさあふれる神奈川の森へ～

神奈川フィルハーモニー管弦楽団の弦楽四重奏の生演奏に続いて、映像「ようこそ神奈川の森へ」では、神奈川県観光名所と森林再生の取組を紹介しました。



神奈川フィルハーモニー管弦楽団の弦楽四重奏



感謝状贈呈

第61回全国植樹祭の大会テーマ、大会ポスター原画、シンボルマークは公募され、最優秀賞受賞作品が採用されました。南足柄会場において、最優秀賞受賞者に感謝状が贈呈されました。



感謝状の贈呈を受ける受賞者の宗像洋明さん(中)、井上美紀さん(右)



松沢成文神奈川県知事が感謝状を手渡しました



「かなりんちゃん」が登場

記念切手贈呈

第61回全国植樹祭を記念して発行されたふるさと切手「国土緑化」初刷が、中城吉郎郵便事業（株）取締役副社長から松沢成文神奈川県知事へ贈呈されました。



記念切手を披露する松沢成文神奈川県知事



中城吉郎副社長から贈呈



記念切手デザイン

切手には、今回天皇皇后両陛下にお手植え、お手播きいただいた10の樹種のうち6種類と県の木「イチョウ」、県の花「ヤマユリ」、秦野市の花「カワラナデシコ」、南足柄市の花「リンドウ」の合計10種類の写真をデザインしました。

平成22年5月21日（金）全国で一斉発売

天皇皇后両陛下下御到着

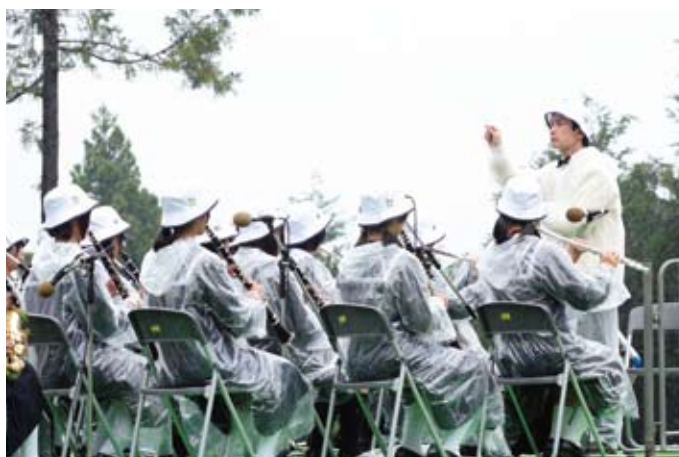


開会のことば



開会のことば

社団法人国土緑化推進機構副理事長 谷 福丸



演奏する南足柄市立岡本中学校吹奏楽部



苗木の贈呈

緑の少年団がドングリから大切に育てた苗木が、代表者から緑化推進連絡会議議長(代理 島田泰助林野庁長官)と田島一成環境副大臣へ贈呈されました。



天皇皇后両陛下お手植え

天皇陛下はケヤキ、スギ（無花粉）、クヌギの苗木を、皇后陛下はヤマザクラ、イロハモミジ、シラカシの苗木をお手植えになりました。





代表者記念植樹

両陛下のお手植えに合わせて、県内外の参加者代表の方々が記念植樹を行いました。



記念植樹を行う参加者代表の皆さま。手前は介添える緑の少年団



代表者の皆さまによって植えられた苗木



アトラクション ～森から人へ～

森が育むあなたの心 ～Gift for you～

木や森がいつも人とともにあることを再認識し、木や森の大切さと、私たち人がこれから取り組む姿勢をサインマイム（手話を取り入れたパントマイム）による創作と、映像、ナレーションで表現しました。



出演・社会福祉法人トット基金 日本ろう者劇団（理事長 黒柳徹子）
・相武台シティバレエ アンド ミュージカルカンパニーグランワルツ
・田中健太（沢入国際サーカス学校研究生）



天皇皇后両陛下下御退席

この後、両陛下は、お車で秦野市の式典会場へ向かわれました。



エピローグ ～神奈川の木と関わる人々～

木と生きる・木と暮らす

神奈川の伝統工芸の一つ、箱根寄木細工の匠、金指勝悦さんから毎日の仕事の中で感じる、木や仕事に対する想いや愛情についてお話を伺いました。また、苗木のホームステイを行った緑の少年団から、日頃の活動を通して感じたことや大切に育てた苗木のこと、身の回りの木に対する気持ちについてお聞きしました。



ご自分の作品やその材料となる木材を説明する金指さん



自分で苗木を育てた体験を話す緑の少年団

🍃 2会場連携セレモニー ～過去から現在へ、現在から未来へ～

未来につなぐメッセージ

今回の植樹祭は南足柄会場と秦野会場を中継で結びました。まず、平成6年4月に県立21世紀の森に埋めたタイムカプセルを開封し、「過去からのメッセージ」を紹介。南足柄会場では、山下泰裕さん（神奈川県体育協会会長）、秦野会場では苅谷俊介さん（秦野市在住・俳優）、さらに県内各地から集まった14の家族が、50年後に開封される「未来へのメッセージ」を「どんぐりポスト」に投函しました。そして白井貴子さん（かながわ環境大使・歌手）が秦野会場で歌い出した大会テーマソング「森へ行こう!」は、2会場を結んで大合唱となりました。



山下泰裕さんが自分の「未来へのメッセージ」を紹介



南足柄市のキャラクター足柄山の金太郎くんが「どんぐりポスト」を持って登場



代表の家族がそれぞれの想いを込めて投函



県内各地から集まった代表家族にインタビュー



苅谷俊介さんが自身の「未来へのメッセージ」を投函。左は秦野市キャラクター・丹沢はだの三兄弟



代表家族が未来への想いを語りました



「森へ行こう!」を熱唱する白井貴子さん



歌声の輪は会場いっぱい広がる

秦野会場 招待者入場時アトラクション

南足柄市立向田小学校の皆さまによる民俗芸能「足柄ささら踊」が披露されました。この踊りは、国選択無形民俗文化財で江戸時代に始まり、明治中期までは少女たちの盆踊りとしてさかんに行われていました。現在は保存会が演技指導しています。



子どもたちは伴奏しながら、元気に歌いました

プロローグ ～ようこそ都市と融和する神奈川の森へ～

始めに愛林日植樹の様子など神奈川の森と人との関わりを映像で紹介し、続いて丹沢アルプホルンクラブ、秦野観光和太鼓による地域や森に因んだ神奈川県伝統芸能で、参加者の皆さまをお迎えしました。また、映像「神奈川の未来に向けて」では神奈川県現在の現在とこれからの未来をご案内しました。



すがすがしいアルプホルンの音色が会場に響き渡りました



勇壮で迫力ある和太鼓の演技

天皇皇后両陛下御到着

両陛下は、南足柄市のお手植え会場からお車で移動され、秦野市の式典会場に御到着されました。



三旗掲揚・国歌斉唱



三旗掲揚(左から大会旗(緑の少年団)、国旗(ガールスカウト)、県旗(ボーイスカウト))



雨谷麻世さんのアカペラによる国歌斉唱

主催者あいさつ



大会会長あいさつ

大会会長 衆議院議長 横路 孝弘

天皇皇后両陛下をお迎えして、第61回全国植樹祭を開催するにあたり、ごあいさつを申し上げます。

森林は、国土の保全、水源の涵養、美しい川の流れ、豊かな海、木材の供給などのほか、緑とのふれあいを通して健康と心の安らぎを与えるなど、私たちに多くの恵みをもたらしています。日本の文化もこうした木々や森林に囲まれた風土の中から生まれてきたのです。

わが国の豊かな森林は、先人が努力を重ね、守り、育ててくれた貴重な財産であります。これまで以上に多くの市民、特に若い世代の人々に活動に加わってもらい、十分な植樹や手入れを行って次の世代に継承されなければなりません。

神奈川県では「森林再生50年構想」に取り組み、広葉樹林の再生、人工林から混交林への転換、人工林の再生を図るとともに、水源の森林づくりに取り組んでおられる中で、南足柄市と秦野市において、「森が育む あなたの心 森を育む あなたの手」を

テーマに、第61回全国植樹祭が開催されますことは、大変意義深いことであります。

木を植え、森を造っていくには多くの人々のねばり強い持続する意思と時間が必要です。フランスのジャン・ジオノの「木を植えた人」という有名な絵本があります。木が伐採され泉も枯れ、人々が去った荒れ果てた地で毎日毎日、100粒のどんぐりを30年にわたって植え続け、森を甦らせた人の話です。森が復活すると、泉からは水があふれ小川のせせらぎが生まれ、人々も、鳥もリスも戻ってきたという話です。

みどりの恵みを享受している私たちが、森林づくりを力強く推進することを通じて、この恵まれた自然を未来へ確実に引き継いでいくことを強く期待いたします。

ご参集の皆様には、今後とも緑化の推進にご尽力賜りますようお願いいたしますとともに、開催にあたりご協力をいただきました神奈川県の皆様を始め関係各位に厚く御礼を申し上げまして、私のあいさつといたします。



神奈川県知事あいさつ

神奈川県知事 松沢 成文

本日ここに、天皇皇后両陛下ご臨席の下、第61回全国植樹祭を開催できますことを、誠に光栄に存じます。

また、ご来賓の皆様、そして全国各地からご参加いただいた大勢の皆様、ようこそ神奈川にお越しくださいました。900万県民を代表して心から歓迎申し上げます。

神奈川県は、首都圏に位置し、開港・開国以来、日本の近代化をリードするとともに、力強い経済力によりわが国の発展を支えてまいりました。その一方で、緑豊かな山並みや、美しい水をたたえる川や湖、そして変化に富んだ美しい海岸線を有するなど、多彩な自然環境にも恵まれております。

本県には、丹沢大山や箱根といった山々など、実に県土の4割近くを占める森林があります。森林は私たちの生命に欠かすことのできない水を蓄え、木材を生み出し、二酸化炭素を吸収して地球温暖化の防止に資するなど、私たちの暮らしに多くの恵みをもたらしてくれます。しかしながら、近年、森林は手入れ不足などにより、荒廃が進んでいま

す。本県では、豊かな森林の恵みを次の世代に引き継いでいくため、「かながわ森林再生50年構想」を策定し、スギやヒノキの人工林から、多様な広葉樹も一緒に生育する混交林への転換を進めるなど、荒廃した森林の再生に取り組んでいるところです。

こうした森林再生の取り組みを推進していく上では、県民や企業・団体の皆様のご協力が欠かせません。そこで、本県では、全国に先立ち森林ボランティア活動のリーダーを養成する「神奈川県森林インストラクター制度」や、企業や団体からの寄付を基に森林を整備する「森林再生パートナー制度」の創設などに積極的に取り組んでまいりました。

さらに、今回の全国植樹祭は、より多くの皆様が森林の大切さを知るきっかけとなり、また、森林づくり活動に参加していただけるよう準備を進めてまいりました。

具体的には、植樹する苗の一部を、地元の子どもたちが育てる「苗木のホームステイ」や、「植える」・「育てる」・「活用する」を体験する「森のリレーフェスタ」などを、NPOの方々との協働で実施するとともに、県全体が全国植樹祭のステージとなるよう、県内の13の市町にサテライト会場を設置し、より多くの県民の皆様が森林や緑に対する理解を深めていただけるよう努めてまいりました。

このたびの大会を契機として、こうした本県の森林再生の取り組みをさらに前進させるとともに、全国に広く発信することで、先人が守り、育んできた、かけがえのない森林を次世代に継承していく運動の輪が、全国に広がっていくことを願っております。

結びに、大会の開催にお力添えを賜りました多くの皆様に深く感謝申し上げますとともに、天皇皇后両陛下のますますのご健勝をお祈り申し上げ、私のあいさつといたします。

表彰

平成22年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール、平成21年度緑化功労者、平成21年度全日本学校関係緑化コンクール、第61回全国植樹祭記念かながわ未来につなぐ森づくり賞の表彰が行われました。



横路孝弘大会会長から表彰を受ける
ポスター原画コンクール入賞者代表の鈴木蒼馬さん



表彰状授与者の松沢成文知事、川端達夫文部科学大臣、赤松広隆農林水産大臣



緑化功労者代表の濱野進さん



学校関係緑化コンクール表彰を代表して、
岡崎市立常磐東小学校・三浦倫夫校長



かながわ未来につなぐ森づくり賞代表の
川又正人さん

天皇皇后両陛下お手播き

天皇陛下は、ブナ、スダジイの種を、皇后陛下はコブシ、ヤブツバキの種をお手播きになられました。





アトラクション ～人から森へ～

森を育むあなたの手 ～Clap Your Hands～

かながわの森の成長を表すアニメーション映像（監督：山本二三）に続いて、「かながわダンスキッズ」の子どもたちが、森への想いをダンスパフォーマンスにのせて表現しました。子どもたちの元気あふれる躍動感に圧倒されました。



大会宣言

社団法人国土緑化推進機構 理事長 佐々木 毅



第61回全国植樹祭は、神奈川県南足柄市の足柄森林公園丸太の森地区と秦野市の県立秦野戸川公園地区において開催され、「森が育む あなたの心 森を育む あなたの手」が大会テーマとして掲げられた。

地球温暖化の防止や生物多様性の保全など、国際的な環境問題への関心が高まっている今日、私たちは、心のやすらぎの場であり、また、木材の供給や水源の涵養、二酸化炭素の吸収など、さまざまな恵みをもたらす緑の社会資本である森林を再生させ、良好な状態にして未来に確実に引き継いでいくことを目指し、次の事項を重点に、緑化運動の更なる発展を図ることを宣言する。

- 一、森林の豊かな恵みを未来の子供たちに引き継ぐため、国民参加の森林づくり運動を一層推進する。
- 一、循環資源である森林・木材の積極的・多角的な利活用の拡大に努め、林業・木材産業の振興を図る。
- 一、森づくり活動の実践や森林・環境教育の充実等を通じ、次代を担う心豊かで健やかな青少年を育成する。

平成22年5月23日

第61回全国植樹祭

リレーセレモニー



神奈川県知事から、和歌山県知事に
植樹祭のシンボルである木製の地球儀を引き継ぎしました。



次期開催県知事あいさつ

和歌山県知事 仁坂 吉伸

本日、第61回全国植樹祭が、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、緑したたる神奈川県において、盛大に開催されましたことを、心からお慶び申し上げます。

来年の第62回全国植樹祭は、和歌山県において開催いたします。誠に光栄なものと存じます。

和歌山県は、紺碧の黒潮が洗う紀伊半島に位置し、穏やかな気候と豊かな水の恵みが育くんだ美しい紀伊の山々があります。また、自然保護の先覚者でもあった南方熊楠が、研究の場としてその半生を捧げた生物の宝庫でもあります。

平成16年に世界遺産に登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」は、荘厳な雰囲気と底知れぬ魅力に富み、これまで多くの人々を迎えてまいりました。そうした和歌山県に、天皇皇后両陛下をお迎えし、全国植樹祭を開催いたしますことは、県民にとりまして大きな喜びであります。

和歌山県は、日本の山々に樹木の種を播き青山となした神が鎮まるところと、神話に記された「木の国」であります。来年開催する全国植樹祭は、先人が守り育ててきた豊かで多様な森林と木の文化を、より良い姿で未来に引き継いでいくため、次の世代を担う多くの子どもたちに自分の手で苗木を育ててもらい、県民みんなが緑を慈しむ気持ちを大いに醸成するものとしたいと考えております。

そうした思いを込めて、大会テーマを「緑の神話 今 そして未来へ 紀州木の国から」といたしました。

式典会場は、癒しの地・熊野の玄関口にある田辺市とし、県内各地に地域植樹会場を設けます。山青く、海青く、空青い和歌山へ、全国から多くの皆様にお越しいただきますよう、心からお待ち申し上げてごあいさついたします。



閉会のことば

神奈川県議会議員 国吉 一夫

本日、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、「森が育む あなたの心 森を育む あなたの手」を大会テーマとして開催されました第61回全国植樹祭は、以上をもちまして滞りなく終了いたしました。

大会に参加されました皆様並びに関係者各位のご協力に感謝申し上げまして、閉会のことばいたします。

天皇皇后両陛下下御出発



招待者退場時アトラクション

雨足が強まる中、神奈川県鳶工業連合会若鳶会による情緒あふれる木遣り・^{まとい}纏・はしご乗りと、地元秦野市内の小中学生による秦野少女ラッパ鼓隊の演奏が行われました。



神奈川県鳶工業連合会若鳶会



秦野少女ラッパ鼓隊

サービス広場

南足柄会場



雨にもかかわらずとてもにぎわいました



県立21世紀の森ブース



(財)かながわトラストみどり財団ブース

南足柄会場



南足柄市茶道連絡協議会による呈茶席(丸太の森古民家)



秦野会場



サービス広場の様子



神奈川県森林関係ブース



神奈川県森林関係ブース(セミナーの様子)



秦野商工会議所ブース



林野庁東京神奈川森林管理署ブース



電気自動車体験ゾーン(神奈川県)

作品御覧

全国植樹祭の前日、5月22日（土）湯本富士屋ホテル（箱根町）において、天皇皇后両陛下は大会ポスター原画及び国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞作品を御覧になりました。



レセプション

作品御覧に引き続き、天皇后陛下をお迎えして、同ホテルにおいて全国植樹祭レセプションを開催しました。



サテライト会場

神奈川県全体を全国植樹祭のステージとして、多くの県民に参加していただき、全国植樹祭で発信した森林再生の取組みを広く理解していただけるようサテライト会場を設置しました。

サテライト会場で実施するイベントでは、各地域で活動される方々と協働し地域の特性に応じた森林再生の取組みを発信しました。

 **開催期日** 平成22年2月6日(土)から5月23日(日)までの間

 **開催地**





会場紹介

会場名	コンセプト (同時開催イベント等)	開催日	会 場	来場者数	植樹本数
湯河原会場	四季彩のまちづくり(梅の宴)	2月6日(土)	湯河原梅林公園及び 桜郷地区 (足柄下郡湯河原町鍛冶屋 他)	2,160 人	20 本
横浜会場	次世代につなぐ豊かな森づくり (150万本植樹行動、開港150周年の森づくり、緑区制40周年記念)	3月13日(土)	玄海田公園 (横浜市緑区)	1,150 人	7,500 本
小田原 ふるさとの森会場	生活環境を守るふるさとの森づくり (ふるさとの森づくり運動)	3月20日(土)	久野塔ノ峰山頂付近 (ふるさとの森づくり運動 実施箇所) (小田原市久野)	490 人	2,500 本
相模原会場	未来へ引き継ぐ水源の森林づくり (第13回津久井湖さくらまつり)	4月 3日(土)	県立津久井湖城山公園 水の苑地(相模原市緑区)	6,000 人	225 本
厚木会場	潤いとやすらぎを感じられる 緑の街づくり (第37回厚木市緑のまつり)	4月24日(土)	若宮公園 (厚木市森の里)	24,000 人	300 本
小田原 わんぱくらんど会場	生活環境を守るふるさとの森づくり	4月29日(木)	小田原こどもの森公園 わんぱくらんど (小田原市久野)	1,600 人	1,000 本
山北会場	町民とつくる未来につなげる 美しい森づくり (大野山山開き)	4月29日(木)	大野山山頂 (足柄上郡山北町皆瀬II)	3,000 人	1,000 本
横須賀・葉山会場	人を育て、人が憩う 次世代に引き継ぐ森づくり	5月2日(日)	湘南国際村 (横須賀市湘南国際村、 三浦郡葉山町上山口)	1,405 人	5,000 本
伊勢原会場	私たちの美しいふるさと 花と緑のまちづくり (第19回公園緑花まつり)	5月8日(土)	伊勢原市総合運動公園 (伊勢原市西富岡)	15,000 人	300 本
川崎会場	市民が進める多摩丘陵の森づくり かわさき市民100万本植樹	5月16日(日)	生田緑地 (川崎市多摩区)	5,000 人	5,000 本
藤沢会場	みんなで育てよう 「湘南藤沢の緑と水」の街づくり (親水公園まつり)	5月22日(土)	引地川親水公園一帯 (藤沢市大庭)	1,000 人	30 本
海老名会場	緑あふれる心のふるさと えびなの森づくり (えびなの森創造事業第5回市民植樹祭)	5月23日(日)	海老名市役所周辺 (海老名市勝瀬)	15,000 人	470 本
開成会場	町民による緑あふれる 住みよい街づくり	5月23日(日)	中家村公園 (足柄上郡開成町吉田島)	1,500 人	10 本
合 計				77,305 人	23,355 本

湯河原会場

開催日：平成22年2月6日(土)

テーマ：四季彩のまちづくり

場 所：湯河原梅林公園及び桜郷地区（湯河原町鍛冶屋 外）

サテライト会場は、13会場ありますが、湯河原会場からスタートをきりました。
会場では梅の花が咲き始めるなか、ヤマザクラ20本が植樹されました。



横浜会場

開催日：平成22年3月13日(土)

テーマ：次世代につなぐ豊かな森づくり

場 所：玄海田公園（横浜市緑区）

市民の皆さまがドングリから育てた苗木（スダジイ、ウバメガシ）を中心に植樹が行われました。「150万本植樹行動」、「開港150周年の森づくり」に併せて、開催されました。



小田原ふるさとの森会場

開催日：平成22年3月20日(土)

テーマ：生活環境を守るふるさとの森づくり（ふるさとの森づくり運動）

場 所：久野塔ノ峰山頂付近（小田原市久野）

広葉樹の苗木の植林や保育等の森林体験を通じて、市民運動により小田原市内の西部丘陵地に広葉樹林帯を創ることを目的とした「生活環境を守るふるさとの森づくり」をテーマとして開催されました。



相模原会場

開催日：平成22年4月3日(土)

テーマ：未来へ引き継ぐ水源の森林づくり

場 所：県立津久井湖城山公園水の苑地（相模原市緑区）

満開の桜に囲まれて、「津久井湖さくらまつり」と同時開催されました。式典では森林資源の有効活用、森林の様々な役割について、相模原市長や知事からお話がありました。



厚木会場

開催日：平成22年4月24日(土)

テーマ：潤いとやすらぎを感じられる緑の街づくり

場 所：若宮公園（厚木市森の里）

全国植樹祭の1ヶ月前、「厚木市緑のまつり」と併せて開催されました。
一般来場者により、「カミネッコン」と呼ばれる段ボール製のポットへの植樹が行われました。



小田原わんぱくらんど会場

開催日：平成22年4月29日(木)

テーマ：生活環境を守るふるさとの森づくり（ふるさとの森づくり運動）

場 所：小田原こどもの森公園わんぱくらんど（小田原市久野）

広葉樹の苗木の植林や保育等の森林体験を通じて、市民運動により小田原市内の西部丘陵地に広葉樹林帯を創ることを目的とした「生活環境を守るふるさとの森づくり」をテーマとして開催されました。



山北会場

開催日：平成22年4月29日(木)

テーマ：町民とつくる未来につなげる美しい森づくり

場 所：大野山山頂（山北町皆瀬川）

記念植樹の苗は、樹齢約2000年と言われる箒杉から採取され、2005年にスペースシャトル「ディスカバリー号」で宇宙飛行したスギの種が発芽、それを挿し木にし成長させたものです。



横須賀・葉山会場

開催日：平成22年5月2日(日)

テーマ：人を育て、人が憩う 次世代に引き継ぐ森づくり

場 所：湘南国際村（横須賀市湘南国際村・葉山町上山口）

横須賀市と葉山町の境にある湘南国際村に、様々な団体から約1,400人の方に参加をいただきました。横浜国立大学の宮脇名誉教授の指導により、混植・密植方式による植樹が行われました。



伊勢原会場

開催日：平成22年5月8日(土)

テーマ：私たちの美しいふるさと 花と緑のまちづくり

場 所：伊勢原市総合運動公園（伊勢原市西富岡）

雄大な大山を望むことができる会場で、イロハモミジ等の代表者記念植樹が行われました。



川崎会場

開催日：平成22年5月16日(日)

テーマ：市民が進める多摩丘陵の森づくり

場 所：生田緑地（川崎市多摩区）

サテライトイベント開催を契機として、2024年の市制100周年に向けて、市民・事業者・行政の協働による緑化運動「かわさき市民100万本植樹～緑のミリオンムーブメント～」をスタートさせました。



藤沢会場

開催日：平成22年5月22日(土)

テーマ：みんなで育てよう「湘南藤沢の緑と水」の街づくり

場 所：引地川親水公園一帯（藤沢市大庭）

全国植樹祭開催の前日、新緑豊かな引地川親水公園一帯にて「親水公園まつり」と同時に開催されました。

会場は、多くの家族連れでにぎわいました。



海老名会場

開催日：平成22年5月23日(日)

テーマ：緑あふれる心のふるさと えびなの森づくり

場 所：海老名市役所周辺（海老名市勝瀬）

全国植樹祭と同日に開催されました。市長などの代表者により、天皇皇后両陛下がお手植えになる同樹種（クヌギなど）の記念植樹が行われました。



開成会場

開催日：平成22年5月23日(日)

テーマ：町民による緑あふれる住みよい街づくり

場 所：中家村公園（開成町吉田島）

式典では、小学生による大会テーマソングの合唱の他、町内各小中学校へ植樹されるシラカシの苗木が贈呈されました。

全国植樹祭と同日に開催されました。



苗木のホームステイ

地元小学生等が開催会場付近でどんぐりを採取し、第61回全国植樹祭において招待者が植樹する苗木の一部を種から育ててもらいました。足掛け3年の取組みのなかで、子どもたちの森づくりへの関心が高まりました。

時期：平成19年秋季～平成22年春季

場所：どんぐり採取～秦野市・南足柄市会場周辺

苗木の育成～秦野市・南足柄市の小学校、県内の緑の少年団

内容：どんぐり採取、どんぐりから苗木を育成、全国植樹祭で植樹

規模：参加者約2,000人 育成ポット数 約3,300ポット



どんぐり採取の様子



クヌギ



コナラ



シラカシ

クヌギ・コナラ・シラカシのどんぐりを拾いました



1つの植木鉢に3個ずつどんぐりを植えました



学校などで育ててもらいました



苗の世話をする様子

子どもたちの手で大きく成長した苗木



クヌギ



シラカシ



コナラ

森のリレーフェスタ

「植える」・「育てる」・「活用する」を体験できる様々なイベントを、県内各地をリレー方式で回りながら実施し、県内各地の緑の少年団を始め多くの県民の皆さまに参加していただきました。

また、南足柄市丸太の森（お手植え会場）の会場整備で発生した間伐材から生まれた「森のバトン」に、各回の参加者が少しずつ色を塗り完成させ、第61回全国植樹祭へ引き継ぎました。

時 期：平成20年7月～平成22年2月 全7回実施（うち1回は天候不順により中止）

場 所：県内各地（サテライト会場設置市町を中心として）

内 容：植樹、育樹、自然観察など

参 加 者：約1,550名

飲料提供：コカ・コーラ セントラルジャパン株式会社、タカナシ乳業株式会社



森のバトン 参加者に少しずつ色を塗っていただきました（左から第1回、第5回、第6回の様子）

第1回 森のリレーフェスタ・育樹のつどい

開催日：平成20年7月26日（土）

場 所：相模原市相模湖畔林、津久井又野公園、
三井水源林

内 容：下草刈り、自然観察会

参加者：134名



第2回 森のリレーフェスタ・やどりき水源林のつどい

開催日：平成20年10月18日（土）

場 所：松田町やどりき水源林

内 容：植樹

参加者：361名



第3回 森のリレーフェスタ・えびなの森植樹

開催日：平成20年11月1日(土)

場 所：海老名市役所前広場および横須賀水道路

内 容：植樹

参加者：約500名



第4回 森のリレーフェスタ・小田原ふるさとの森植樹

(天候不順のため中止)

第5回 森のリレーフェスタ・芦ノ湖西岸歩道修繕ウォーク

開催日：平成21年9月5日(土)

場 所：箱根町湖尻、芦ノ湖西岸歩道

内 容：昭和天皇・香淳皇后お手植え樹見学、
間伐材を活用した歩道修繕

参加者：144名



第6回 森のリレーフェスタ・ドングリ育てたい

「いのち(水源)の森づくり」

開催日：平成21年9月26日(土)、10月20日(火)、10月24日(土)

場 所：新鶴見操車場跡地、県立三ツ池公園、川崎市立古川小学校

内 容：ドングリ苗木の里親募集、ドングリ教室

参加者：177名

協 働：NPO法人幸まちづくり研究会



第7回 森のリレーフェスタ・^{とびおさん}鳶尾山で里山づくり

開催日：平成22年2月7日(日)

場 所：厚木市鳶尾山

内 容：ハイキング、植樹

参加者：234名

協 働：鳶尾山に桜を植える会



飾花プランターづくり（間伐材の活用と子どもたちの木工体験）

プレ全国植樹祭で会場を飾るプランターをお手植え会場（南足柄市）整備等により発生した間伐材を活用して製作しました。製作にあたっては、（南足柄市、大井町、開成町、山北町の）中高生・ジュニアリーダーに行っていました。

時 期：平成21年5月16日(土)

場 所：県立21世紀の森

参加者：46名



参加者の皆さまに、きれいに組み立てていただきました。



第 61 回全国植樹祭かながわプレ大会 2009

翌年に控えた第61回全国植樹祭を、多くの県民の皆さまに知っていただき、一緒に盛り上げていきたいという想いを込めて開催しました。また、この祭典は、県植樹祭と秦野市植樹祭、南足柄市民植樹祭と併せて開催されました。

時 期：平成21年5月24日(日)

場 所：①南足柄会場 足柄森林公園丸太の森地区(式典)、南足柄市塚原地区(植樹)

②秦野会場 秦野戸川公園地区(式典・植樹)

内 容：記念植樹、記念式典、特産品販売、パネル展示 等

参加者：3,042名(秦野会場2,078名、南足柄会場964名)



南足柄会場

- 8:00 ~ 9:00 記念植樹(南足柄市塚原)
- 9:25 ~ 9:30 イントロダクション
- 9:30 ~ 9:40 プロローグ
 - ・南足柄市立岡本中学校吹奏楽部
- 9:40 ~ 10:20 式典
 - ・開会のことば
 - ・主催者あいさつ
(知事、南足柄市長、秦野市長)
 - ・来賓紹介
 - ・来賓代表あいさつ
 - ・代表者記念植樹
 - ・みどりの誓い
(白井貴子さん、緑の少年団等)
 - ・足柄四人衆による劇
 - ・閉会のことば
- 10:20 ~ 10:35 エピローグ
 - ・足柄さら踊
 - ・暫金時応援隊
- 秦 野 会 場 へ 移 動 ——
- 10:35 ~ 11:00 休憩
- 11:00 ~ 12:30 アトラクション

秦野会場

- 9:00 ~ 10:50 記念植樹(秦野戸川公園周辺地)
- 10:55 ~ 11:00 イントロダクション
- 11:00 ~ 11:20 プロローグ
 - ・秦野観光和太鼓
 - ・間伐材デザインコンテスト表彰
—— 到 着 ——
- 11:20 ~ 12:05 式典
 - ・開会のことば
 - ・主催者あいさつ
(知事、秦野市長、南足柄市長)
 - ・来賓紹介
 - ・来賓代表あいさつ
 - ・代表者記念植樹
 - ・みどりの誓い
(白井貴子さん、緑の少年団等)
 - ・丹沢賛歌の合唱
 - ・はだのジュニアウインドオーケストラ
 - ・閉会のことば
- 12:05 ~ 12:15 エピローグ
 - ・はだのジュニアウインドオーケストラ
 - ・丹沢アルプホルンクラブ
 - ・秦野観光和太鼓(送賓)

かながわジュニア・フォレスター教室

子どもたちの自然や森林に関する知識と経験の向上を目指した森林体験活動を計4回実施しました。3回以上参加した子どもたち計27名には、かながわジュニア・フォレスター教室修了証と修了ワッペンを贈呈し、第61回全国植樹祭へ親子ペアでご招待しました。

時 期：平成21年6月～平成22年1月 計4回実施

場 所：県内各地

内 容：自然観察、子ども樹木博士教室、林業体験、キャンプ体験など

参加者：神奈川県内在住の小学校3年生から高校2年生とその保護者 のべ313名

共催者：全国森林インストラクター神奈川会



かながわジュニア・フォレスター教室修了証授与式



修了ワッペン

第1回「森を知ろう」

開催日：平成21年6月14日(日)

場 所：横浜市 県立四季の森公園

内 容：子ども樹木博士教室、自然観察会等

参加者：58名（うち保護者21名）



自然観察会



葉から樹木名を答える「子ども樹木博士認定試験」

第2回「森で暮らそう」

開催日：平成21年8月2日(日)～4日(火)(2泊3日)

場 所：南足柄市 足柄森林公園丸太の森

内 容：テント暮らし、飯ごう炊はん、林業体験、自然に親しむプログラム等

参加者：107名(うち保護者7名)



飯ごう炊はん



下草刈りにチャレンジする子どもたち

第3回「森を食べよう」

開催日：平成21年10月18日(日)

場 所：秦野市 県立秦野戸川公園

内 容：自然観察、どんぐりクッキーと森のパウムクーヘン作り

参加者：101名(うち保護者29名)



マテバシイ粉と小麦粉でどんぐりクッキー作り



森のパウムクーヘン作り

第4回「森で遊ぼう」

開催日：平成22年1月11日(月・祝)

場 所：横須賀市 県立観音崎公園

内 容：ガリガリとんぼと竹笛作り、焚き火と焼き芋(特別の許可を得て実施)

参加者：47名(うち保護者18名)



焼き芋



完成したガリガリとんぼを回す参加者

カウントダウンセレモニー

全国植樹祭開催に向け機運を高めるため、有識者による基調講演、カウントダウン等のアトラクションなどを実施し盛り上げました。

また、この日から第61回全国植樹祭への参加の一般公募を開始しました。

時 期：平成21年10月10日(土)

場 所：横浜赤レンガ倉庫イベント広場

内 容：基調講演、森林再生活動発表、カウントダウンボード除幕式、大会テーマソング発表ライブ等

参加者：約22,000名

共 催：(財)かながわトラストみどり財団、社団法人国土緑化推進機構



左から丹沢はだの三兄弟、たねまる、かなりんちゃん



カウントダウンボードの除幕式



左から松沢知事、今井通子さん、島山重篤さん、荻谷俊介さん



白井貴子さんによる大会テーマソングの発表

第 39 回全国林業後継者大会

第61回全国植樹祭の前日に関連行事として、全国の林業後継者が一堂に会し、森を育む担い手として果たす役割について意見を交わし、健全な森づくりにより豊かな社会を築くことを発信するため、開催されました。

時期：平成22年5月22日(土)

場所：伊勢原市民文化会館(伊勢原市田中)

主催：全国林業研究グループ連絡協議会、神奈川県林業協会、神奈川県

内容：活動発表、基調講演、パネルディスカッション等

参加者：約500名



パネルディスカッション



活動発表



開会式典

森林循環フェア

「森林資源の循環」の仕組みを再構築していくため、森林づくりや木材に対する県民の関心を高めるとともに、林業・木材産業並びに家づくりや家具づくりの関係者等の連携を図り、県産木材のより一層の利用を促進するため開催しています。

時期：平成18年秋季から実施（年1回）

場所：県内各地

主催：森林循環フェア実行委員会

規模：約91,500人（平成18年から平成22年の5年間）

内容：企画展示、県産木材木工コンクール、ブース出店、体験コーナー、住宅相談会、クイズラリー



森林循環フェア 2010 の様子

水源林のつどい

神奈川県における水源の森林づくりへの理解を深めていただくため、森林再生に取り組むNPO団体や企業等と連携・協働して開催しています。

時期：毎年夏～秋季開催

場所：やどりき水源林（足柄上郡松田町寄）

主催：県民との協働による森林づくり実行委員会

内容：水源林トレッキング、木工工作、森のコンサート、森のゲームなど

参加者：約200名



成長の森事業

神奈川の森林再生のための象徴的な取組みとして、赤ちゃんが生まれたご家族を参加者とし、赤ちゃんの誕生を記念して「成長の森」をつくり、次の世代へ引き継いでいくことを目的として、(財)かながわトラストみどり財団が県と協力して実施しています。

時 期：平成19年度から実施
場 所：やどりき水源林(足柄上郡松田町寄)
事業主体：(財)かながわトラストみどり財団、神奈川県
内 容：見学会など



定着型ボランティア活動

県の水源林の一定エリアを10年間、活動フィールドとして提供を受けた参加グループが、森林づくりの目標をもって、主体的な森林づくりの活動を行っていただく取組みを進めています。

時 期：平成20年度～活動開始
場 所：やどりき水源林(足柄上郡松田町寄)、
魚止めの森(相模原市緑区鳥屋)など
事業主体：県民との協働による森林づくり実行委員会、神奈川県
内 容：植樹や人工林の間伐作業などの森林づくり活動



やどりき水源林内の植樹風景

森林再生パートナー・水源林パートナー

企業・団体等(森林再生パートナー・水源林パートナー)から、5年間、継続した寄附をいただくとともに、森林活動により水源の森林づくりへ参加協力をいただく取組みを進めています。

時 期：毎年(通年)
場 所：やどりき水源林(足柄上郡松田町寄)
事業主体：神奈川県
内 容：間伐作業などの森林づくり活動



会場市の取組

南足柄市



南足柄市長 沢 長生

平成22年5月23日(日)、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、当市の「足柄森林公園丸太の森地区」をお手植え会場として第61回全国植樹祭が開催されました。大会当日はあいにくの雨となりましたが、県内外からたくさんの招待者及び多くの市民にご参加いただき、成功裡に終了することができました。両陛下にお手植えされた苗木は、南足柄の地で育まれ植樹祭の思い出とともに、永久に残ることとなります。そして、豊かな緑と水に育まれた郷土南足柄の自然を子どもたちへ引き継いでいくため市民植樹祭を今後も開催していきます。最後になりますが、多くの方々のご協力をいただき、誠にありがとうございました。

カウントダウンセレモニー 平成21年10月11日(日)

第61回全国植樹祭の開催に向け機運を高めるため、カウントダウンボードのお披露目を足柄金太郎まつりで行いました。



記念植樹 平成21年11月5日(木)

天皇陛下御在位20年慶祝行事として全国植樹祭で両陛下がお手植えされる6種類の樹種の記念植樹を行いました。



市民ボランティア活動 平成22年4月3日(土)～平成22年5月30日(日)

植樹祭の成功に向けて、市民ボランティアの皆さまと第61回全国植樹祭を盛り上げました。



花苗配布



歓迎のぼり旗装飾



飾花プランター沿道装飾



歓迎のぼり旗装飾

第2回市民植樹祭 平成22年6月6日(日)

第61回全国植樹祭を一過性のものとせず、緑と水に育まれた郷土の自然を子どもたちへ引き継いでいくため、大会の2週間後に市民植樹祭を開催しました。



秦野市



秦野市長 古谷 義幸

平成18年、県に招致要望書を提出してから開催までの1,315日、第61回全国植樹祭を盛り上げるため、市民総ぐるみで取り組んできました。世代を超えて、地域を超えて、立場を超えて行ってきた数々の取組みは、みどり豊かで美しいふるさを見つめ直すきっかけとなり、そして、市民の力、地域の力を本市に根付かせてくれました。このかけがえのない取組みを財産としてしっかりと引き継ぎ、人と自然が共生する秦野らしさのある森林・里地里山を100年かけて再構築していくことを目指す「はだの一世紀の森林づくり構想」の実現に向けて、多くの皆様とともに取り組んでまいります。

結びに、全国植樹祭の開催に御尽力いただいた全ての皆様に心からお礼を申し上げ、式典会場市の市長としてのお礼のことばといたします。

第1回秦野市植樹祭 平成20年5月10日(土)

県立秦野戸川公園で、約1,000人が参加し、植樹や式典を実施するとともに、「はだの一世紀の森林づくり構想」の発表を行いました。



全国植樹祭歓迎メッセージボードの製作 平成21年8月25日(火)～

市内全ての幼稚園、小・中学校の子供たちが、歓迎のメッセージを込めて、緑や森林などをテーマにした絵画を102枚製作しました。



全国植樹祭歓迎フラワープランターの製作 平成22年4月24日(土)～

400世帯、20団体の市民ボランティアが、沿道を季節の花で飾るフラワープランター4,500個を製作しました。



市内一斉清掃 平成22年5月9日(日)

全国からお越しになるお客さまを温かくお迎えするため、市内全域で、自治会の清掃活動を実施しました。



第61回全国植樹祭感謝祭～ありがとう全国植樹祭～ 平成22年10月10日(日)

式典に出演、出店した市内全ての団体が参加した感謝祭を開催し、約1,800人の市民が参加し、全国植樹祭が盛大に開催されたことを祝いました。



開催までの記録

実行委員会設立総会

平成22年春季に開催する第61回全国植樹祭の開催に向け、松沢知事を会長とし、県議会議員や県内各界の代表などを委員とする「第61回全国植樹祭神奈川県実行委員会」が設立されました。

総会に先立ち、知事が「全国植樹祭を50年後の神奈川の森林の新しい姿を県民全体で共有し、県民の皆様と協働して取り組んでいく契機として行きたい。」と抱負を述べました。

時 期：平成20年1月9日(水)

場 所：横浜市開港記念会館

委員数：126名



あいさつをする知事



設立総会の様子



総会后、会長と副会長、会場市長が大会の成功に向けて握手を交わしました

第61回全国植樹祭 実施計画の決定

社団法人国土緑化推進機構（会長 横路衆議院議長）の全国植樹祭特別委員会において、第61回全国植樹祭実施計画が決定されました。

時 期：平成22年2月12日(金)

場 所：衆議院議長公邸



横路衆議院議長のあいさつ



松沢知事のあいさつ



石黒環境農政部長の実施計画説明



島田林野庁長官あいさつ



会場の様子

会場整備状況

会場整備については、現在の環境をできるだけ活かし、なるべく自然に負荷が掛からないよう作業を進めました。また、招待者・関係者など、全ての人が安全で快適に過ごせるよう配慮しました。

お手植え会場（南足柄会場）



大会当日の様子



お野立所の建築工事着工



完成間近の会場

式典会場（秦野会場）



大会当日の様子



整備工事前の会場



完成間近の会場

県産木材の積極的な活用

全国植樹祭の開催にあたっては、森林の再生、地場産業の活性化、環境への配慮をし、できる限り県産木材を活用しました。会場整備の際に発生した間伐材等は、お野立所、木製ベンチ、プランター、木製チップなどに利用しました。また、お野立所の内壁に、「丹沢六木」と呼ばれるツガ、ケヤキ、モミ、スギ、カヤ、クリの木材パネルを貼り付けました。

お野立所（南足柄会場）



うっそうとしたスギ林や上総川^{かずさがわ}のせせらぎ、田んぼや集落などが残る会場周辺の風景は、昔ながらののどかな里山を思わせます。この様な原風景に寄り添うような山小屋をイメージした勾配屋根を採用しました。

お野立所（秦野会場）

水無川を中心とした都市公園としてのおおらかな環境を意識し、この地域のシンボルともなっている風の吊り橋からヒントを得て、風にはらんだ帆や浮遊するパラグライダーをイメージしたアーチ形状の屋根を採用しました。



木製ベンチ



木製チップを敷いた植樹会場内の歩道



木製プランター

リハーサル

全国植樹祭を円滑に運営するため、本番同様の体制でリハーサルを行いました。

○総合リハーサル

実施日：平成22年4月25日(日)

南足柄会場



秦野会場



○前日リハーサル

実施日：平成22年5月22日(土)

南足柄会場



秦野会場



大会テーマソングの作成

第61回全国植樹祭を広く県民の皆さまにお知らせするため、藤沢市出身・鎌倉市在住で、かながわ環境大使である白井貴子さんに森づくり・森林再生へのメッセージを込めた大会テーマソング「森へ行こう!」を制作していただき、平成21年10月10日(土)に開催したカウントダウンセレモニーにおいて披露しました。



松沢知事よりテーマソング制作の委嘱状の交付を受ける白井貴子さん



大会テーマソング「森へ行こう!」CD

森へ行こう!

詞・曲 白井 貴子

萌黄色の森へ行こう!
生れたての 空 見上げよう!
春になれば 花も咲く
ふるさとは ここにある

久しぶりだね! 土の道 踏みしめて歩けば 元気になるよ
小鳥の声も 楽しげに 木漏れ日のライトでデュエットしてる

みんなで 萌黄色の森へ行こう!
生れたての 空気浴びよう!
夏になれば 河遊び
ふるさとは ここにある

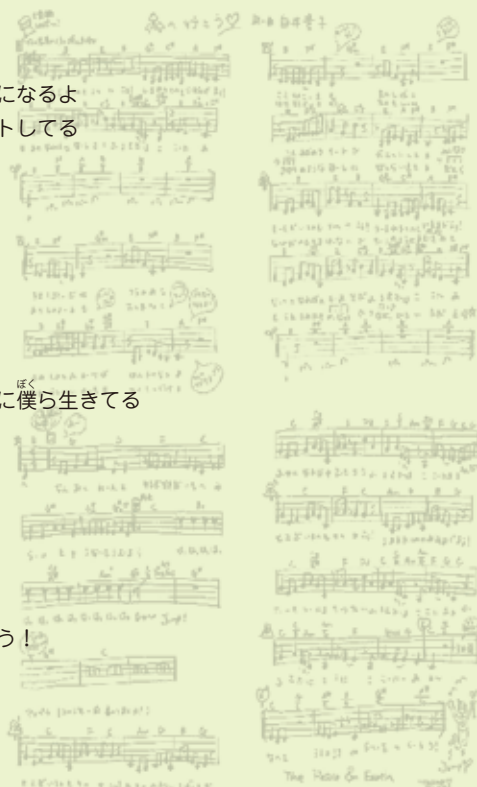
嵐の夜も 絶え間なく 新しい命を作り続ける
母なるメロディー 頼もしい 魔法のような「地球」に僕ら生きてる

だから 涙の日も 負けないで!
森のように 前を見て
空と海に 世界中に
繋がっている 頂きへ

何億年と 揺るぎなき大地へ 未来という苗を植えよう!

みんなで 萌黄色の森へ行こう!
秋の香り 色づく木々
冬になれば 雪も舞う
ふるさとは ここにある

みんなで 萌黄色の森へ行こう!
生れたての 夢 見上げよう!
大切に守りたい
ふるさとはここにある
ふるさとは ここに! ここにある! 苗を植えよう! 未来を創ろう!



広報計画

第61回全国植樹祭の開催について、各種広報媒体を利用し情報発信を行いました。



かなりんちゃんのぬいぐるみとミニのぼり



かなりんちゃんピンバッジ



県庁に設置したPR看板



キャラバン活動





インターネットホームページ



ウェットティッシュ (環境仕様)



間伐紙・間伐材を (スギ) を使用したうちわ



コースター (間伐材使用)



宝くじ



のぼり旗



かなりんちゃんとハローキティのコラボレーショングッズ
(株)あすなろ舎



かなりんちゃんグッズ ((株)トミーワークス)



神奈川県障害者地域作業所連絡協議会作成のグッズ



(財) かながわトラストみどり財団作成のグッズ



南足柄市 作成グッズ



秦野市バッチ



南足柄市、秦野市
PR 用共通のぼり旗

大会弁当・参加記念品

大会弁当のメニューは、富士屋ホテル総料理長を座長とした、大会弁当企画委員会が作りました。全てのメニューに「かながわブランド品」などの県産食材を使ったこだわりの弁当です。

かながわ彩葉弁当



～お品書き～

- ◆中華風肉団子とキャベツのチリソース煮込み
（「第4回神奈川のうまい！家族でうまい！お料理レシピコンテスト」特別賞受賞レシピ）
- ◆足柄牛のしぐれ煮
- ◆小田原アジの竜田揚げ 柚子風味
- ◆煮物（たけのこ・ふき・ごぼう・にんじん・焼き長芋・高野豆腐）
- ◆五目ひじき煮
- ◆三色素材のゴマ胡桃和え（ほうれん草・にんじん・湘南しらす）
- ◆みのや吉兵衛のゆば巻き
- ◆佐藤修商店の金太郎かまぼこ
- ◆丹沢さくら漬けとヒラタケの炊き込みごはん
- ◆白米（小田原曾我の完熟十郎梅）
- ◆三浦産たくあん
- ◆湘南ゴールド

第4回 神奈川のうまい！家族でうまい！ お料理レシピコンテスト

このコンテストは、かながわブランドを中心とする県産農畜産物のPRと地産地消の推進を目的に2006年より毎年開催しています。

今回は神奈川ではじめて行われる全国植樹祭を記念して、大会で配られる弁当のおかず1品としてかなりんちゃん賞（特別賞）を設け、川崎市の大江由香さんが考案した「中華風肉団子とキャベツのチリソース煮込み」が採用されました。



足柄牛

足柄の豊かな自然環境のなかで、特に育成前期に、地域の特産品である「足柄茶」の粉末を与え、健康的に育まれた牛です。お肉のうまみを感じられるよう、やや厚切りにしました。

練り物

神奈川県西部では、昔から豊かな海の恵みを生かしたかまぼこ作りが盛んでした。今回のお弁当には、小田原の老舗「みのや吉兵衛」のゆば巻きと、南足柄市「佐藤修商店」の金太郎かまぼこを入れました。

かながわブランド

組織的な生産体制に基づき、品質、生産量並びに供給体制の向上・安定を目指す神奈川県内産農林水産物及びその加工品。大会弁当は、ほぼ全てのメニューにかながわブランド食材が使われました。



小田原アジ

マアジは相模湾を代表する魚。中でも、小田原漁港には定置網で捕れたそばから、船上で冷海水に保存された鮮度抜群のマアジが水揚げされます。西湘地域名産の柚子の香りをまとった竜田揚げにしました。

丹沢さくら漬け

秦野市千村地区は全国でも有数の桜の産地で、春になると八重桜が満開になります。おめでたい席によく使われる八重桜の塩漬け、実はこの地区で全国シェア7割を誇る、隠れた名物です。

曾我の完熟十郎梅

小田原の名所「曾我の梅林」にて、栽培から製造までを一貫して行っている「昇珠園」の梅干。完熟した十郎を塩だけで漬けた昔ながらの味。ねっとりとした果肉と、梅らしい酸っぱさが特徴です。



湘南ゴールド

酸っぱそうなレモン色とは裏腹に、ジューシーな甘味、さわやかな香りが特徴。神奈川県が12年の歳月をかけた研究の末、見出した新たな品種です。皮をむくと華やかな香りがします。



大会弁当企画委員会

座長：村中 伸吉（富士屋ホテル総料理長）

委員：広瀬 啓子 山崎 美由紀
穂坂 美有紀 庄司 香菜
最上 綾 高橋 利沙
上野 智尋 久保寺 愛美



Special thanks to :

（株）門屋食肉商事、（株）小田原魚市場、JA全農かながわ、JAかながわ西湘、JAIはだの、神奈川県漁業協同組合連合会、しらす協議会、（株）美濃屋吉兵衛商店、（有）佐藤修商店、昇珠園、かながわブランド振興協議会、キリンビール（株）横浜支社、富士屋ホテル（株）、崎村調理師専門学校、神奈川県立小田原総合ビジネス高等学校、（株）東華軒

大会参加記念品

神奈川県 箱根寄木細工 箸置き

この箸置きは、会場整備に伴い発生した伐採木と国産材のみを使用し、箱根駅伝往路優勝の寄木トロフィーの作者である伝統工芸士の金指勝悦氏により制作されました。黄色がケヤキ、白がミズキ、緑がホノノキです。

国の伝統的工芸品としても指定されている箱根寄木細工は、違う色の木を組み合わせる様々な模様を作り、そのブロックを薄く削って製品に貼り付ける技法（ズク貼り）と、ブロックをそのまま独自の技術で削り、仕上げる技法（無垢）があります。特に自然の木の良さを五感で感じられる無垢の寄木細工は、使えば使うほど風合いが味わい深くなります。

この無垢の寄木で作った箸置きが、皆さまの食卓で末永く愛され、木の温もりが心の栄養になれば幸いです。

寄木細工のできるまで



完成！



南足柄市 足柄茶チョコサンドクッキー

NPO 法人「金太郎プロジェクト推進委員会」が地域の特産品である足柄茶をお菓子にしました。彩りを添える市民植樹祭キャラクター「足柄四人衆」は南足柄市の全国に誇れる伝承から生まれました。「物産館あしがらの里」等で販売中です。



秦野市 ピーナッツクリーム+ジャムペラ

秦野市では、名産である落花生を使用したピーナッツクリームと森林整備から生まれる間伐材を利用したジャムペラを皆さまへの記念品としました。

この記念品は、市内の障害者施設の方々が心を込めてラッピングいたしました。



参加者全員への配布物



協賛計画

第61回全国植樹祭を一過性のイベントとして終わらせることなく、これを契機として県民運動を加速していくため、県内の企業や団体、個人に対し広く支援を求めました。

1 県民協賛

応援してくださる個人やグループの方を対象としてかなりんちゃん募金を実施しました。

募金された方に「かなりんちゃんファンクラブ」の会員となっただき、神奈川の森林再生に協力していただきました。



かなりんちゃんファンクラブ会員証（缶バッチ）

2 事業協賛

全国植樹祭や各種記念事業の運営・広報に対する資金提供や物品提供などによる協力



かなりんちゃんパッケージのお菓子（(株)不二家）



かなりんちゃんパッケージのお茶
（(株)神奈川県農協茶業センター）



キャラバンカー「かなりんちゃん号」（日産神奈川会）



カウントダウンボード（神奈川県内広域水道企業団）

3 メディア協賛

全国植樹祭や各種記念事業についての各種メディアや自社媒体（PR冊子、広報誌等）を活用した広告等による協力

協賛者・協力者

第61回全国植樹祭にご協賛・ご協力いただいた皆さま

● 協賛者名(お申し込み順)



飯島意匠／神奈川県みどり会／ダイドードリンコ(株)／新晃空調工業(株)／(社)神奈川県商工会議所連合会／(財)神奈川県企業庁サービス協会／
 (株)リンレイ／美津濃(株)厚木営業所／(株)明治ゴム化成／さがみ信用金庫／(株)さんこうどう／日本労働組合総連合会神奈川県連合会／
 神奈川県山林種苗協同組合／(株)半導体エネルギー研究所／(株)神工舎建築工房／横河電子機器(株)／スルガ銀行(株)／アサヒカルピスビバレッジ(株)／
 神奈川県林業協会／山北チップ工業(株)／神奈川県漁業協同組合連合会／(財)相模湾水産振興事業団／神奈川県農業協同組合中央会／鈴廣かまぼこ(株)／
 神奈川県建具協同組合／(株)大林組横浜支店／(株)安池建設工業／近山木こりの会／神奈川エコハウス(株)／神奈川県森林協会／神奈川県商工会連合会／
 (株)荏原製作所／(社)神奈川県バス協会／文化堂印刷(株)／(株)リコー／ゼンリン緑の募金／神奈川県中小企業団体中央会／パナック工業(株)／
 横浜新都市センター(株)／郵便事業(株)南関東支社／(株)横浜インポートマート／(社)神奈川県造園業協会／南開工業(株)／(株)イイダ／
 (社)日本造園建設業協会 神奈川県支部／(株)アートコーヒー／(社)神奈川県病院協会／(社)神奈川県薬剤師会／(社)神奈川県医師会／
 (社)神奈川県産業廃棄物協会／東京電力(株)神奈川支店／(社)神奈川県歯科医師会／(株)二ノ倉開発／神奈川臨海鉄道(株)／
 東日本高速道路(株)関東支社横浜工事事務所／(株)横浜岡田屋／神奈川県道路公社／(社)神奈川県タクシー協会／日本電気(株)神奈川支社／
 マイクロソフト(株)／(株)JTB 首都圏／シスコシステムズ合同会社／富士屋ホテル箱根協和会／(有)井島商店／(株)ウィングマリタイムサービス／
 (社)神奈川県トラック協会／日本アイ・ピー・エム(株)／シルクセンター／(株)サークルKサンクス

● 協力者名(50音順)

足柄消防組合消防本部／伊豆箱根鉄道(株)／伊豆箱根バス(株)／神奈川県森林土木建設業協会／神奈川県ふれあい教育振興協会／神奈川県立足柄上病院／
 神奈川県立小田原総合ビジネス高等学校／神奈川県立秦野高等学校／神奈川県立秦野総合高等学校／神奈川県立秦野首屋高等学校／
 神奈川県立吉田島総合高等学校／かながわ森林インストラクターの会／(株)神奈川県農協茶業センター／(株)ジェフ／(株)島津製作所秦野工場／
 (株)湘南神奈交バス／(株)東華軒／(株)トヨタレンタリース神奈川／(株)ポータ工業／キリンビール(株)／ジャスコ秦野店／(社)足柄上医師会／
 (社)箱根物産連合会／上智短期大学／全国森林インストラクター神奈川会／大雄山駅前開発(株)／日産車体(株)／日本インター(株)／秦野市北財産区／
 秦野市消防本部／秦野市タクシー協議会／秦野市西財産区／秦野市東財産区／秦野市民間パトロール隊北・西支部／秦野赤十字病院／
 (南足柄市、大井町、開成町、山北町)の中高生・ジュニアリーダー／南足柄市交通指導隊／南足柄市茶道連絡協議会／南足柄市商工会／南足柄市消防団／
 南足柄市森林ボランティア協議会／南足柄市庭園業組合／横浜ゴム平塚製造所／横浜油脂工業(株)

このほかにも、個人やグループのボランティアの方にご協力をいただきました。

開催後の取組

かながわジュニア・フォレスター教室2010

子どもたちに自然や森林に親しむ機会を提供することにより、知識と経験の向上を目指した森林体験活動を大会終了後も実施しております。

時 期：平成22年8月～平成23年1月 計4回開催

場 所：県内各地

内 容：自然観察、子ども樹木博士教室、林業体験、キャンプ体験など

参加者：神奈川県内在住の小学校3年生から高校2年生とその保護者

共催者：全国森林インストラクター神奈川会

第1回「森で暮らそう」

開催日：平成22年8月22日(日)～23日(月)（1泊2日）

場 所：南足柄市 足柄森林公園丸太の森

内 容：テント暮らし、飯ごう炊はん、林業体験、リバートレッキング等

参加者：48名（うち保護者7名）



リバートレッキング



林業体験

第2回「森を知ろう」

開催日：平成22年10月3日(日)

場 所：横浜市 県立四季の森公園

内 容：子ども樹木博士教室、クイズラリー等

参加者：30名（うち保護者15名）



子ども樹木博士教室



クイズラリー

第3回「森で遊ぼう」

開催日：平成22年11月14日(日)

場 所：秦野市 県立秦野戸川公園

内 容：全国植樹祭紹介コーナー、焼き芋、どんぐりせんべい作り、森のクラフト制作、自然観察会

参加者：67名（うち保護者20名）



全国植樹祭紹介コーナー



森のクラフト制作

順調に育つ植樹会場の苗木

平成22年の夏は大変な猛暑でしたが、幸い台風の少ない年でした。式典開催後、天皇皇后両陛下のお手植えの苗木を始め、参加者が両会場に植えた9,000本の苗木は、着実に根付きすくすくと育っています。



お手植え会場



天皇陛下お手植えのスギ(無花粉)



皇后陛下お手植えのイロハモミジ

南足柄会場



クヌギ(苗木のホームステイにより子どもたちが育てたもの)



ヤマザクラ



コナラ(苗木のホームステイにより子どもたちが育てたもの)

秦野会場



ホオノキ



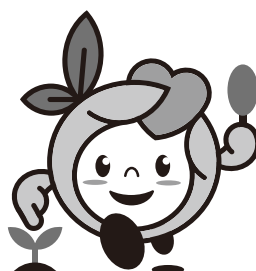
スギ(無花粉)

かながわの森へ行こう! の日

今後、全国植樹祭で育まれた森林づくりの機運を継続するため、毎年5月の第4日曜日を「かながわの森へ行こう!」の日として、県民の皆さまが森とふれあう記念事業を実施してまいります。

資 料 編

・開催概要	92
・開催地位置図	93
・お手植え会場全体図 南足柄会場マップ	94
・式典会場全体図 秦野会場マップ	96
・お手植え・お手播き・記念植樹	100
・出演者紹介	102
・使用楽曲一覧	103
・平成22年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール	104
・平成21年度緑化功労者・平成21年度全日本学校関係緑化コンクール・ 第61回全国植樹祭記念かながわ未来につなぐ森づくり賞	105
・大会テーマ・シンボルマーク・大会ポスター原画入賞者	106
・第61回全国植樹祭推進組織体制	107
・第61回全国植樹祭神奈川県実行委員会会則	108
・第61回全国植樹祭神奈川県実行委員会委員名簿	109
・第61回全国植樹祭神奈川県実行委員会常任委員会委員名簿	110
・第61回全国植樹祭専門委員会等委員名簿	110
・全国植樹祭・行幸啓本部(大会実施本部)組織表	112
・第61回全国植樹祭 開催準備組織の変遷、業務担当職員	113
・第61回全国植樹祭開催経過	114



＊開催概要

開催日：平成22年5月23日(日)

主催：社団法人国土緑化推進機構・神奈川県

開催会場：お手植え・植樹会場(南足柄会場) 足柄森林公園丸太の森地区(南足柄市広町)

式典・植樹会場(秦野会場) 秦野戸川公園地区(秦野市堀山下・戸川・横野)

荒天会場 秦野市総合体育館

サテライト会場：13会場

湯河原会場(湯河原梅林公園及び桜郷地区)、横浜会場(玄海田公園)、小田原ふるさとの森会場(久野塔ノ峰山頂付近)、相模原会場(県立津久井湖城山公園水の苑地)、厚木会場(若宮公園)、小田原わんぱくランド会場(小田原こどもの森公園わんぱくランド)、山北会場(大野山山頂)、横須賀・葉山会場(湘南国際村)、伊勢原会場(伊勢原市総合運動公園)、川崎会場(生田緑地)、藤沢会場(引地川親水公園一帯)、海老名会場(海老名市役所周辺)、開成会場(中家村公園)

◇ 第61回全国植樹祭 参加者数等の実績

1 大会参加者

区 分	開催日	会 場	植樹本数(本)	参加者数(人)
本大会	5/23	南足柄会場	2,000	925
		秦野会場	7,000	4,555
		参加者計	9,000	5,480
		実施本部員等	—	2,795
	計		9,000	8,275
サテライト会場	2/6	湯河原会場	20	2,160
	3/13	横浜会場	7,500	1,150
	3/20	小田原ふるさとの森会場	2,500	490
	4/3	相模原会場	225	6,000
	4/24	厚木会場	300	24,000
	4/29	小田原わんぱくランド会場	1,000	1,600
	4/29	山北会場	1,000	3,000
	5/2	横須賀・葉山会場	5,000	1,405
	5/8	伊勢原会場	300	15,000
	5/16	川崎会場	5,000	5,000
	5/22	藤沢会場	30	1,000
	5/23	海老名会場	470	15,000
	5/23	開成会場	10	1,500
	計		23,355	77,305
その他	5/23	秦野市民サテライト おおね公園	—	500
合 計			32,355	86,080

※本大会の両会場招待者(32名)は、南足柄会場に計上した。

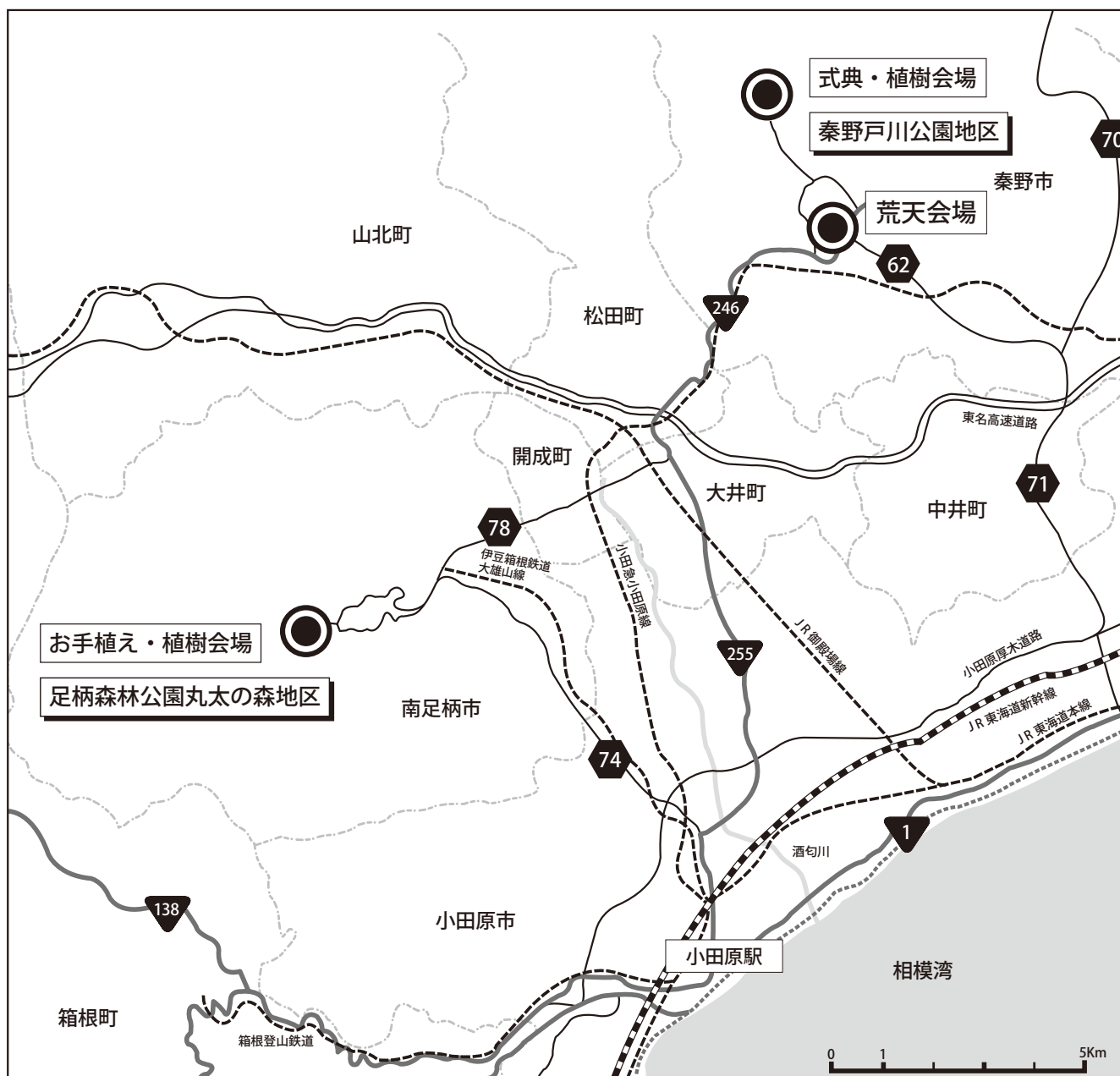
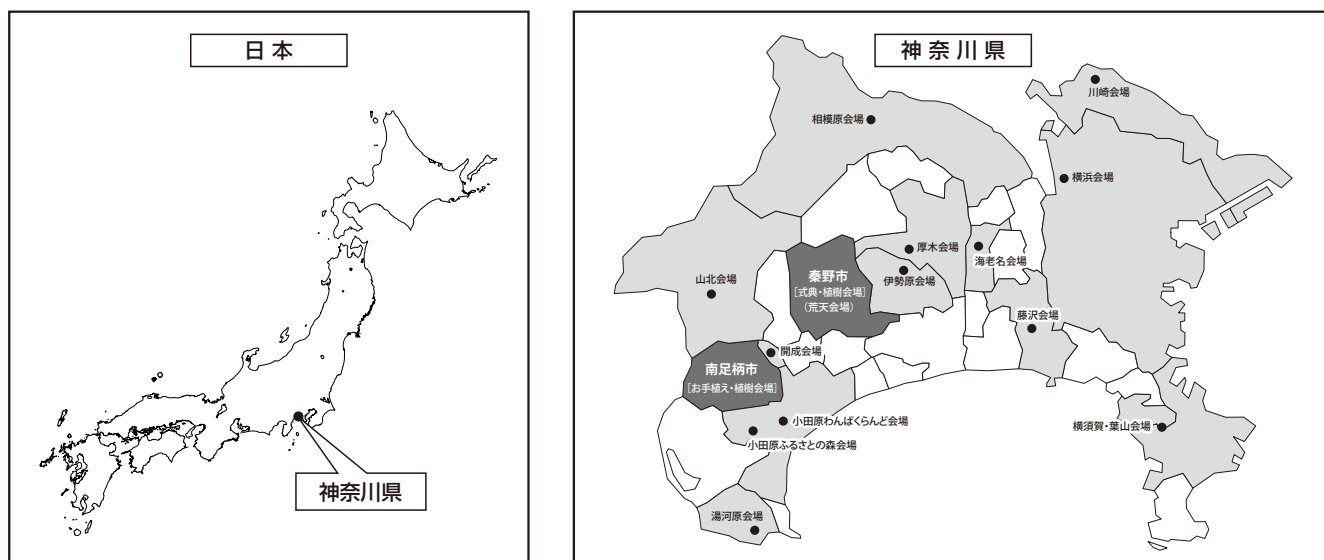
2 関連イベント参加者

区 分	概 要	参加者数(人)
苗木のホームステイ	期間：H19.11～H22.5、秦野市・南足柄市の19小学校及び緑の少年団6団体が参加	2,096
ブレ全国植樹祭	H21.5.24 開催	3,042
森のリレーフェスタ	H20.7～H22.2の間に6回開催	1,637
ジュニア・フォレスター教室	H21.6～H22.1の間に4回開催	313
カウントダウンセレモニー	H21.10.10 開催	22,000
合 計		29,088

3 総合計

総 合 計	115,168(人)
-------	------------

＊開催地位置図



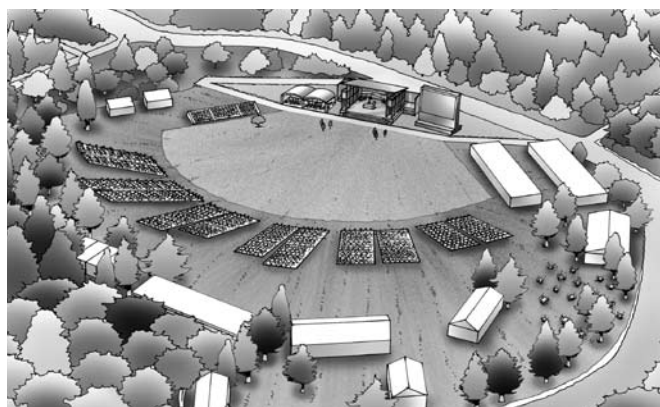
＊お手植え会場全体図 南足柄会場マップ

お手植え会場は、箱根外輪山の北東に位置する森林地域にあり、約1,000人の招待者を収容できる施設を整備しました。

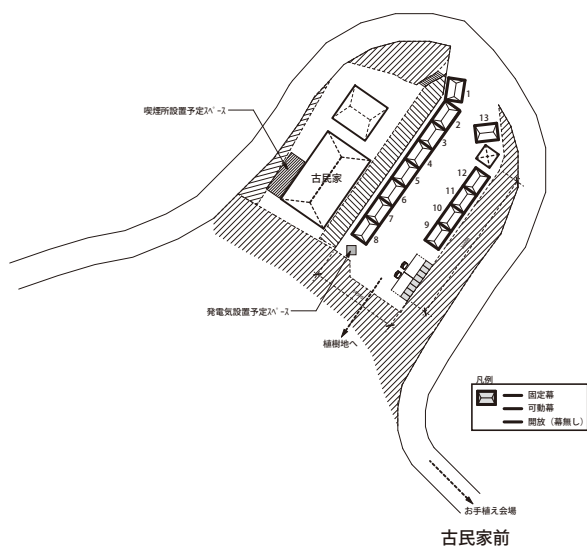
◇会場周辺状況



◇お手植え会場イメージイラスト



◇サービス広場テント配置図



番号	テント表示	主な販売物・展示物等
1	総合案内所・湯茶接待所	各種案内、問い合わせ対応、湯茶等の提供
2	小田原おでん	小田原おでん5点盛り、ちまきの販売
3	社会福祉法人足柄緑の会 中沼コスモス学園	自家製うどん販売、アクセサリ販売
4	同愛会リプラス(リサイクル容器回収)	リサイクル容器の回収
5	(株)神奈川農協茶業センター	農産物加工品「足柄茶」試飲販売
6	アサヒビール株式会社	神奈川工場等における環境への取組について
7	(財)かながわトラストみどり財団	活動紹介と緑の募金・トラスト会員募集
8	神奈川県立「21世紀の森」 指定管理者(株) 足柄グリーンサービス	マイはし(袋付)販売、 指定管理者・施設の紹介
9	日本郵便 南足柄支店	全国植樹祭記念切手、お荷物ゆうパック引受け
10	三竹里山と竹林を考える会	すだれと竹炭、竹豆腐容器、パネルの展示
11	富士フィルム	化粧品・サプリメント・カメラ等の展示販売
12	株式会社ジー・ウェイブ 有限会社トミーワークス	かなりんちゃんとキティちゃんのコラボ商品 かなりんちゃんオリジナルグッズ販売
13	神奈川県森林関係ブース	神奈川県の森林関係事業の紹介
古民家内 呈茶席(南足柄市茶道連絡協議会)		呈茶

お手植え会場内

A	NPO法人金太郎プロジェクト推進委員会	まさかりシリーズと全国植樹祭記念品販売
B	南足柄市商工会青年部	軽食販売
C	総合案内所・湯茶接待所	

[illegible]

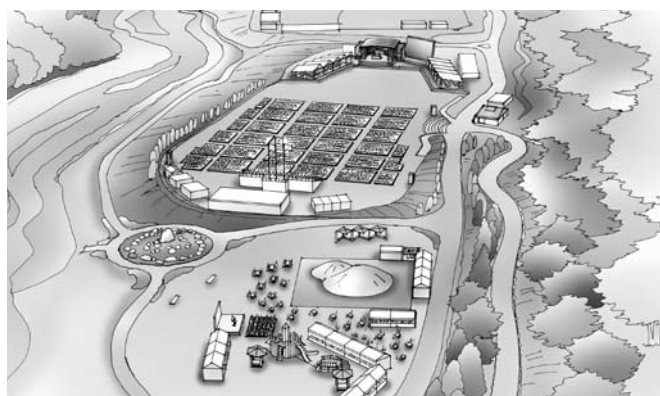
＊式典会場全体図 秦野会場マップ

式典会場は、丹沢山地の南に位置し、丹沢の山々から流れる水無川^{みずなしがわ}の自然を活かした都市公園で、約4,500人の招待客を収容できる施設を整備しました。

◇会場周辺状況



◇式典会場イメージイラスト



The architectural site plan illustrates the layout of the 'Shikoku Kōrei' project, featuring a large central building complex, multiple parking areas, and surrounding infrastructure. The plan is annotated with various labels and dimensions, providing a comprehensive overview of the site's design.

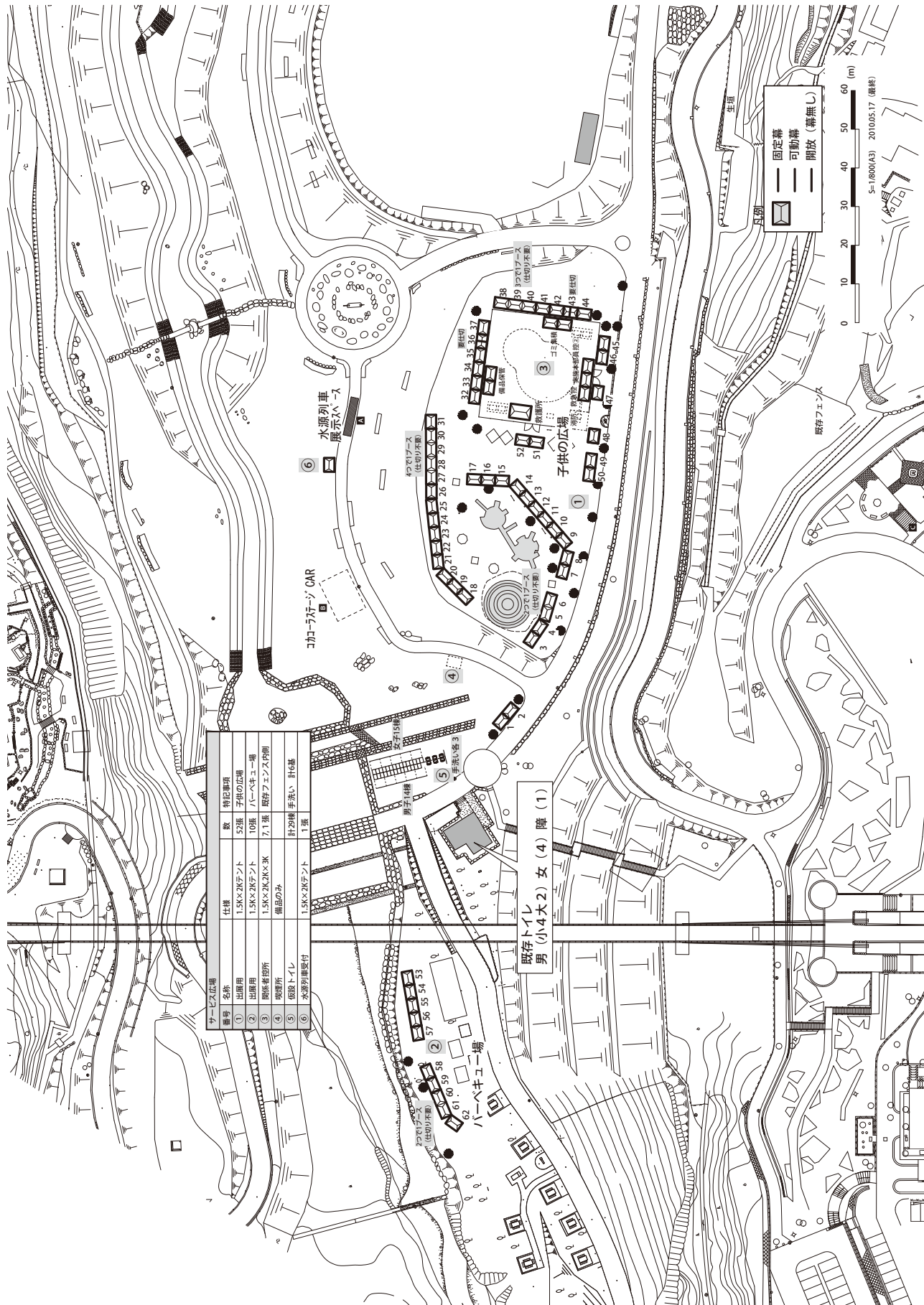
式典会場 番号	名称	仕様	数	特記事項
①	お祭り場	既設施設		
②	400インチ	400インチ	1基	
③	大規模映像	8m×8mテント	6基	
④	特別招待席	2m×3mテント	1基	
⑤	特別トイレ	4.8m×5.4m(21)×21	2基	
⑥	演出品庫	備品のみ		
⑦	売場所	スペース渡し		
⑧	式典会場敷地スペース			

凡例

	固定幕
	可動幕
	開放（幕無し）

式台設備		仕様		数量		特記事項	
番号	名称	原形施設	400インチ	1基	1基		
①	大型映像	8m×8mアクリル	6張				2基
②	特別トイレ	2K×3Kテント	1基				2基
③	PAテント	2K×3Kテント	1基				2基
④	演出品置	4.8m×5.4m12m×12m	1機				2基
⑤	照明所	備品のみ					
⑥	式台会場建機マウス						
⑦	取付台						
⑧	シッター						
⑨	照明	9.6m×5.4m12m×12m	4基				
⑩	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
⑪	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
⑫	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
⑬	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
⑭	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
⑮	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
⑯	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
⑰	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
⑱	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
⑲	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
⑳	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
㉑	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
㉒	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
㉓	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
㉔	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
㉕	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
㉖	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
㉗	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
㉘	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
㉙	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
㉚	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
㉛	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
㉜	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
㉝	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
㉞	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
㉟	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
㊱	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
㊲	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
㊳	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
㊴	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
㊵	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
㊶	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
㊷	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
㊸	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
㊹	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
㊺	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
㊻	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
㊼	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
㊽	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
㊾	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				
㊿	式台本部（照明・空調・音響）	4.8m×5.4m12m×12m	1機				

◆ 式典会場配置図



◇ サービス広場出店

番 号	テント表示	主な販売物・展示物等
展示・物販ゾーン		
①	株式会社 ジー・ウェイブ 有限会社 トミワークス	かなりんちゃんとキティちゃんのコラボ商品 かなりんちゃんオリジナル商品販売
②	一般社団法人 秦野市観光協会	秦野市観光協会推奨品・三兄弟グッズ販売
③ ④	社団法人 箱根物産連合会	小田原漆器・木工販売。箱根寄木細工と小田原漆器は伝統工芸品です
⑤ ⑥	秦野商工会議所	丹沢はだの自然の恵み 秦野のみやげ品販売
⑦	神奈川県障害者地域作業所連絡協議会	かなりんちゃんグッズ販売（手作り品）
⑧	（財）神奈川県公園協会	オリジナルグッズ販売、竹炭販売
⑨	JAはだの	はだの産農産物・農産加工品販売
⑩	（社）神奈川県観光協会 物産・観光プラザ「かながわ屋」	神奈川県各地域の名産品販売
⑪	ペーカリーフードコート麦	卵乳製品を使用していないばんしっとり食ばん
⑫	（社）YOKOHAMA GOODS 001	ヨコハマブランドの食品・雑貨販売
⑬	海老名市	展示や映像による、えびなの森創「造事業PR
⑭	伊勢原市観光協会推奨みやげ会	推奨みやげ品の販売、乳製品・佃煮ほか
⑮	ヨコスカドライブステーション	横須賀土産販売
⑯	藤沢市	藤沢市観光PR、物産品販売
⑰	厚木市・厚木市観光協会	あつぎOECフード販売
⑱	財団法人 神奈川県企業庁サービス協会	水資源の有効利用等普及啓発
⑲	ひらつか花アグリ・花菜ガーデン	ひらつか花アグリ・花菜ガーデンの施設紹介
⑳	（社）神奈川県宅地建物取引業協会	不動産無料相談所の案内・緑化グッズの配布
㉑	小田急電鉄株式会社	小田急グループの環境活動への取組!!
㉒	鶴岡八幡宮「槐の会」	鶴岡八幡宮「槐の会」活動の紹介
㉓	神奈川県内広域水道企業団	水缶・広報用グッズの無料配布、パネル展示
㉔	株式会社 不二家	不二家の菓子及び、ペコちゃんグッズ販売
㉕	社団法人 青年海外協力協会	活動紹介 世界の森工品展示 等
㉖	（財）かながわトラストみどり財団	活動紹介と緑の募金・トラスト会員募集
㉗ ㉘ ㉙ ㉚	丹沢大山自然再生委員会 神奈川県自然保護協会・丹沢自然保護協会 サントリーホールディングス株式会社 神奈川県自然環境保全センター	多様な主体による丹沢大山再生の取組紹介
㉛	春めきプレゼンター	早咲きの桜「春めき」をプレゼントします
㉜	盛月堂製菓 瀬戸スッポン養殖場	和菓子・最中の販売 スッポン加工品販売
㉝	神奈川県山林種苗同組合 神奈川県林業協会	山林種苗に関する展示 かながわしいたけ、かながわむらたけ販売
㉞	NPO法人 かながわ森林インストラクターの会	手づくりのグッズ販売
㉟	特定非営利活動法人 緑のダム北相模	緑のダム北相模、緑のダムFSC材積木
㊱	樹木相談日本樹木医会神奈川県支部 かながわの里地里山	樹木医による樹木相談 里地里山パネル展示及び啓発クイズなど
㊲	神奈川県建具協同組合	県産木材でつくった小物の販売、展示
㊳ ㊴ ㊵ ㊶	神奈川県森林関係ブース	神奈川県の森林関係事業の紹介。水源林・森林再生パートナー展示ブース
㊷	第61回全国植樹祭神奈川県実行委員会	全国植樹祭関連イベントの実施結果紹介
㊸	スモークフリー（神奈川県）かながわ生まれ かながわ育ち	公共施設における受動喫煙防止条例のPR 神奈川県における地産地消の取組などのPR
㊹	総合案内所	各種案内、問い合わせ対応
㊺	ガイドサポート	車いすの貸出し、介助
㊻	第62回全国植樹祭和歌山県実行委員会	第62回全国植樹祭2011PR展示
㊼	林野庁 関東森林管理局 東京神奈川森林管理署	国有林の紹介と木の実のストラップ作りなど
㊽	はだの里山保全再生活動団体等連絡協議会	間伐材活用促進の「パネル展示、DVD上映
㊾	神奈川県水産技術センター	アマモ・淡水魚の展示
㊿	神奈川県森林組合連合会 神奈川県木材業協同組合連合会 秦野市森林組合 かながわ森林・林業活性化協議会	かながわ県産木材の普及PR
㊽	湯茶接待所	湯茶等の提供
㊾	秦野市内郵便局	全国植樹祭開催記念フレーム切手販売
㊿	神奈川県（電気自動車体験ゾーン）	電気自動車（EV）の展示、乗車体験
㊽	コカ・コーラセントラルジャパン（株）	イベントカーによる環境クイズ等を実施
㊿	水源列車プロジェクト	水源列車の展示運行（体験乗車）

飲食店ゾーン

㊽	小田原有機の里づくり協議会	有機農産物販売、協議会活動PR
㊾	神奈川県畜産会	高座豚のフランクとはまばーくの肉まん販売
㊿	神奈川県漁業協同組合連合会	海藻加工品販売、まぐろ串焼き
㊽	相模川第二漁業協同組合	鮎塩焼、鮎フライ、鮎甘露煮
㊾	湯茶接待所	湯茶等の提供
㊿	相模原市観光協会	特産品・農産物加工品等の販売
㊽	JAはだの 女性部	桜湯・紅白桜かしまんじゅう販売
㊾ ㊿	秦野飲食店組合	丹沢のそばうどん、八重桜アイスクリーム、大山ごんにゃくの丹沢ゆずみそ田楽きこ餅
㊽	（株）ヨコタ東北（リサイクル容器回収）	リサイクル容器の回収

＊お手植え・お手播き・記念植樹

◇お手植え

天皇陛下

皇后陛下

樹 種	選定理由	樹 種	選定理由
ケヤキ	自然林を代表する落葉広葉樹 自然林再生の代表樹種 丹沢、箱根の自然林を始め、県内に広く自生する落葉広葉樹です。扇状に枝を張り、円形に広がる樹形が美しく、剪定に耐えることから、公園樹、街路樹などに用いられます。材は木目が美しく、狂いが少なく、湿気にも強いことから、社寺建築、家具、漆器など広く用いられます。	ヤマザクラ	県内に広く自生する落葉広葉樹 里山林再生の代表樹種 丹沢山地の高地部を除き、山地部から市街地近郊の樹林地まで県内に広く自生する、野生の桜の代表的な樹種。4月上旬から中旬に白または淡紅白色の花と紅色の若葉をつけ、秋には鮮やかに紅葉します。古くから人々に親しまれ、詩歌や小説などにも数多く登場します。菊と並び日本の国花とされています。
スギ (無花粉)	森林資源の循環利用と林業再生、 花粉症対策のシンボル 平成16年、神奈川県の研究により県内の精英樹（形質、性質が優れた樹木）の家系から無花粉のスギが見出されました。花粉の抑制とともに、伐る・植える・育てるを繰り返し森林の循環的・持続的な活用が可能となり、林業再生の上で期待が寄せられています。現在苗木量産のための試験が進められています。	イロハモミジ	紅葉が美しい落葉広葉樹 溪畔林再生の代表樹種 溪流沿いの適湿地を始め、県内の山地部や丘陵部に広く自生が見られる紅葉する野生のモミジの代表的な樹種です。秋、黄色を経て赤紅濃色に至る紅葉が鮮やかで、鑑賞樹として盆栽、庭木、公園樹などにも用いられています。
クヌギ	里山林再生の代表樹種、「ドングリ」の木 かつて薪炭林に利用された里山などに見られる落葉広葉樹で、夏は樹液にカブトムシやクワガタが集まり、秋は直径約2cmの大きなドングリをつけ、季節ごとに子どもたちが森林に親しむきっかけを演出します。切株から萌芽（ひこばえ）しますが、老木になるにつれ、その能力は失われます。	シラカシ	県内に広く自生する在来の植生を代表する 常緑広葉樹 丹沢、箱根山地の高地を除き、県内に広く自生する常緑広葉樹です。剪定によく耐え、枝葉がうっそうと茂り、夏の強い日差しや強風を遮ることから、公園樹、街路樹、生垣などにも利用され、県民に広く親しまれています。シラカシの名は、材が白いことに由来しています。

◇お手播き

天皇陛下

皇后陛下

樹 種	選定理由	樹 種	選定理由
ブナ	丹沢の自然林を代表する落葉広葉樹 丹沢再生のシンボル 県内の冷温帯の自然林を象徴する落葉広葉樹です。丹沢、箱根、小仏山地の標高約800メートル以上に自生し、林冠を優占して極相林を形成します。日本海側のブナと比べると葉が小さく、コハブナとも呼ばれます。種子は食用となり、数年に一度広範囲で同時に豊作が訪れます。	コブシ	早春の白い花が美しい里山林再生の代表樹種 県内の山地部や丘陵部に広く自生する落葉広葉樹で、4月には葉を開く前に直径6cmから10cmの芳香のある白色の花をつけて春の訪れを感じさせ、秋にはコブシ状の果実から赤色の種子を白い糸で吊り下げて目を楽しませてくれます。
スダジイ	県内の在来植生を代表する常緑広葉樹 丹沢、箱根、小仏山地を除く県内各地に自生し、樹齢数百年を超える大木も見られる常緑広葉樹で、公園樹などにも利用されています。堅果はシイの実と呼ばれ、アクがなく食べられますが、その成熟には1年以上の期間が必要で、開花の翌年の秋に実を結びます。	ヤブツバキ	県内の在来植生を代表する 赤い花が美しい常緑広葉樹 シイ類やカシ類とともに県内に広く自生し、暖温帯の自然林を象徴する常緑広葉樹です。12月から3月にかけて直径5cmほどの赤い花をつけ、筒状になった黄色い雄しべの奥の蜜を吸いにメジロなどが訪れます。鑑賞樹として盆栽、庭木、公園樹などに利用されるほか、種子からは椿油が採れます。

◇参加者代表記念植樹

ケヤキ スギ(無花粉) クヌギ
ヤマザクラ イロハモミジ シラカシ

◇ 招待者記念植樹本数

(単位：本)

樹 種 名	植樹会場		合 計	苗木の ホームステイ	備 考
	南足柄会場	秦野会場			
アオダモ	116	340	456		
アオハダ	1	2	3		
アカガシ	55	145	200		
アラカシ	0	116	116		
イタヤカエデ	8	23	31		
イロハモミジ	47	250	297		皇后陛下 お手植え樹種
キハダ	73	375	448		
クヌギ	137	361	498	○	天皇陛下 お手植え樹種
クマシデ	7	18	25		
ケヤキ	433	1,333	1,766		天皇陛下 お手植え樹種
コブシ	73	188	261		皇后陛下 お手播き樹種
コナラ	275	716	991	○	
シラカシ	20	58	78	○	皇后陛下 お手植え樹種
スギ(無花粉)	0	730	730		天皇陛下 お手植え樹種
スダジイ	44	0	44		天皇陛下 お手播き樹種
タブノキ	9	23	32		
ヒノキ(少花粉)	0	660	660		
ホオノキ	38	123	161		
モミ	18	40	58		
ヤブツバキ	3	9	12		皇后陛下 お手播き樹種
ヤブデマリ	158	400	558		
ヤマザクラ	328	735	1,063		皇后陛下 お手植え樹種
ヤマボウシ	157	355	512		
合 計	2,000	7,000	9,000		

＊出演者紹介

◇お手植え・植樹会場(足柄森林公園丸太の森地区)

出演内容	出演者(団体)名
音楽隊	南足柄市立岡本中学校、神奈川フィルハーモニー管弦楽団
アトラクション	社会福祉法人トット基金 日本ろう者劇団(理事長 黒柳徹子) 相武台シティバレエ アンド ミュージカルカンパニー グランワルツ 田中健太(沢入国際サーカス学校研究生) 声の出演: 納谷悟朗
式典介添え	南足柄緑の少年団、かまくら緑の探偵団、中山緑の少年団、箱根みどりの少年団
南足柄会場 エピローグ	箱根寄木細工伝統工芸士 金指勝悦 式典介添えの各団員の代表(南足柄会場)

◇2会場連携セレモニー

会場	出演場面	出演者(団体)名
足柄森林公園 丸太の森地区	タイムカプセル	山下泰裕(神奈川県体育協会会長) サテライト会場等代表のご家族(湯河原町、小田原市、山北町、開成町、南足柄市)
		苅谷俊介(俳優) サテライト会場等代表のご家族(横浜市、相模原市、厚木市、横須賀市・葉山町、伊勢原市、川崎市、藤沢市、海老名市、秦野市)
秦野戸川公園地区	大会テーマソングライブ	白井貴子 & The Peace On Earth! 白井貴子 ギター: 本田清巳、南 明男、白井 岬 アフリカンパーカッション: ラティール・シー、上田夏海、高田 風 ドラム: 鎌倉規匠 ベース: 斎藤草平 キーボード: 竹田 元、南野陽征 和太鼓: 相洋高等学校和太鼓部 「全国植樹祭」2010 かながわ大会「森へ行こう!合唱団」 フェリス音楽教室(山手・緑園) & ご家族の皆さま 鎌倉市立御成小学校 相洋高等学校コーラス部 TAKAKO's Family & Friends

◇式典・植樹会場(秦野戸川公園地区)

出演内容	出演者(団体)名
招待者入場時 アトラクション	南足柄市立向田小学校
プロローグ	丹沢アルプホルンクラブ 秦野観光和太鼓
国歌斉唱	雨谷麻世
アトラクション	アニメーション上映(監督: 山本二三) かながわダンスキッズ MK★ダンス(指導: 小倉 誠)、SPACE ART(指導: YUSUKE)
式典介添え	秦野みどりの少年団、相模原市みどりの少年団、日本ボーイスカウト神奈川連盟、 社団法人ガールスカウト日本連盟神奈川県支部
招待者退場時 アトラクション	秦野少女ラッパ鼓隊、社団法人神奈川県鳶工業連合会若鳶会

＊使用楽曲一覧

	プログラム	曲 名	演奏区分
南 足 柄 会 場	●プロローグ		
	プロローグ説明		
	プロローグ ～ようこそやさしさあふれる神奈川の森へ～	ディベルティメント K136 第1楽章	神奈川フィルハーモニー管弦楽団
		ふるさとの風になりたい	映像内 BGM
	感謝状贈呈	タイスの瞑想曲	神奈川フィルハーモニー管弦楽団
	記念切手贈呈	カヴァレリア・ルスティカーナ間奏曲	神奈川フィルハーモニー管弦楽団
	お手植え行事ご案内		
	●式典 お手植え		
	天皇皇后両陛下 御着	ファンファーレ 威風堂々 第1番	南足柄市立岡本中学校吹奏楽部
	開会のことば	ファンファーレ	南足柄市立岡本中学校吹奏楽部
	苗木の贈呈	愛のあいさつ	神奈川フィルハーモニー管弦楽団
	天皇皇后両陛下 お手植え 代表者記念植樹	G線上のアリア 主よ人の望みの喜びよ	神奈川フィルハーモニー管弦楽団
	アトラクション 「森が育む あなたの心」		
	天皇皇后両陛下 御発	木星	南足柄市立岡本中学校吹奏楽部
秦 野 会 場	●2会場連携セレモニー（2会場中継）		
	タイムカプセル「過去からの手紙」紹介 「未来につなぐメッセージ」	森へ行こう！（インストルメンタル）	CD（BGM）
	大会テーマソング合唱	森へ行こう！	白井貴子 & The Peace On Earth! 「全国植樹祭」2010 かながわ大会 「森へ行こう！合唱団」
	●プロローグ		
	プロローグ説明		
	プロローグ ～ようこそ都市と融和する神奈川の森へ～	エンゲルベルクのこだま 山河 光あらたに	丹沢アルプホルンクラブ 秦野観光和太鼓 映像内 BGM
	式典のご案内		
	●記念式典		
	天皇皇后両陛下 御着	ファンファーレ 丹沢讃歌	CD 対応
	三旗掲揚（国歌斉唱）	君が代	雨谷麻世（アカペラ歌唱）
	主催者あいさつ		
	表彰 ①国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール ②緑化功労者 ③全日本学校関係緑化コンクール ④かながわ未来につなぐ森づくり賞	With You ありがとう	CD 対応
	天皇皇后両陛下 お手播き	ふるさとの四季	CD 対応
	アトラクション 「森を育む あなたの心」		
	大会宣言	ファンファーレ	CD 対応
	リレーセレモニー		
	閉会のことば	ファンファーレ	CD 対応
	天皇皇后両陛下 御発	森へ行こう！（インストルメンタル）	CD（BGM）
	●エピローグ		
	エピローグアトラクション 案内		
	エピローグアトラクション（2会場中継）		
	「神奈川ラブソディ」		
			中 止

＊平成22年用 国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール（敬称略）

◇入賞者

小学校の部

●特選

文部科学大臣賞・国土緑化推進機構会長賞

鈴木 蒼馬 福島県郡山市立行徳小学校 4年
(国土緑化運動ポスターとして採用)

農林水産大臣賞

長田 莉奈 山梨県甲府市立甲運小学校 5年

●準特選

林野庁長官賞

斉藤 愛実 茨城県取手市立稲小学校 3年
小林 安奈 東京都光塩女子学院初等科 1年
佐藤 拓海 静岡県沼津市立第三小学校 2年

●入選

国土緑化推進機構理事長賞

高橋 駿英 千葉県佐倉市立小竹小学校 1年
三尾 真子 神奈川県相模原市立清新小学校 1年
佐藤 豪 新潟県新潟市立南万代小学校 3年
大井 遙 山梨県山梨学院大学附属小学校 3年
羽生 楓菜 長野県南箕輪村立南箕輪小学校 2年
西浦 遼 長野県飯田市立追手町小学校 5年
渥美 智之 静岡県沼津市立片浜小学校 5年
麻田 喜久 京都府南丹市立富本小学校 3年
山口 広輝 京都府福知山市立金谷小学校 2年
衣川 広樹 京都府福知山市立明正小学校 4年
沖田 紬 兵庫県神戸市立小東山小学校 2年
岩下 加奈 岡山県倉敷市立乙島小学校 3年
高岩 歩夢 徳島県鳴門市立桑島小学校 5年
北山 僚太郎 香川県丸亀市立城南小学校 5年
大家 実都季 香川県高松市立塩江小学校 6年
加藤 諒 愛媛県松前町立北伊予小学校 1年
稲尾 瑞歩 熊本県苓北町立富岡小学校 2年
毛利 碧 熊本県大津町立大津小学校 4年

中学校の部

●特選

文部科学大臣賞

山口 快世 東京都板橋区立高島第三中学校 1年

農林水産大臣賞

中村 直樹 茨城県かすみがうら市立南中学校 3年

●準特選

林野庁長官賞

田中 つぐみ 新潟県立亀田西中学校 3年
岡崎 真 大阪市立井高野中学校 3年
鬼丸 夏実 福岡県みやま市立瀬高中学校 3年

●入選

国土緑化推進機構理事長賞

脇坂 美秋 岩手県陸前高田市立第一中学校 3年
三浦 早貴子 宮城県大崎市立三本木中学校 3年
安藤 結莉菜 山形県高島町立第二中学校 3年
松延 晶佳 埼玉県鶴ヶ島市立富士見中学校 2年
山田 友惟 静岡県沼津市立第二中学校 1年
吉田 理絵 静岡県浜松市立雄踏中学校 2年
南井 芙水 滋賀県守山市立守山中学校 1年
垣内 隆寛 広島県呉市立片山中学校 3年
宮川 陽平 香川県立高瀬のぞみが丘中学校 3年

高等学校の部

●特選

文部科学大臣賞

小林 夏純 長野県穂高商業高等学校 2年

農林水産大臣賞・国土緑化推進機構会長賞

丸山 信太 岐阜県立多治見工業高等学校 1年
(育樹運動ポスターとして採用)

●準特選

林野庁長官賞

仙波 晃一 大阪府立東大阪支援学校 3年
早田 政也 福岡県立三池工業高等学校 2年
橋口 春菜 長崎県立佐世保東翔高等学校 2年

●入選

国土緑化推進機構理事長賞

矢口 まゆ 北海道壮瞥高等学校 1年
村岡 真歩 東京農業大学第一高等学校 1年
菊永 つぐ穂 神奈川県立弥栄高等学校 2年
岩永 崇志 富山県立高志養護学校 3年
川口 愛子 静岡県立浜松江之島高等学校 2年
福嶋 友紀奈 兵庫県立姫路工業高等学校 1年
貴志 春佳 徳島県立徳島商業高等学校 2年
武末 線 福岡県立三池工業高等学校 1年
小波津 有依 沖縄県立浦添工業高等学校 2年

＊平成21年度緑化功労者・平成21年度全日本学校関係緑化コンクール・ 第61回全国植樹祭記念 かながわ未来につなぐ森づくり賞

◇平成21年度緑化功労者(敬称略)

●農林水産大臣賞(感謝状)

青森県 楠美 タヒ
宮城県 阿部 昭明
神奈川県 濱野 進

●国土緑化推進機構会長賞(感謝状)

兵庫県 田中 美喜朗
徳島県 西浦 輝昭
佐賀県 加茂 二見

●林野庁長官賞(感謝状)

北海道 佐々木 彰郎
福島県 松崎 和敬
栃木県 大橋 和子
岐阜県 田中 正利
島根県 田中 智
山口県 秋山 早苗
愛媛県 竹本 俊夫

●国土緑化推進機構理事長賞(感謝状) ...

岩手県 小向 正幸
秋田県 本城 政市
群馬県 近藤 一男
富山県 天井 一夫
山梨県 嶋崎 正人
滋賀県 青山 鶴郎
大阪府 二階 淳内
和歌山県 北村 翼
鳥取県 武田 恭司
岡山県 永井 孝治

◇平成21年度全日本学校関係緑化コンクール(敬称略)

学校林等活動の部

◆小学校◆

●特選

農林水産大臣賞、日本放送協会会長賞

福島県 古殿町立大久田小学校

●準特選

国土緑化推進機構会長賞

秋田県 北秋田市立鷹巣南小学校
静岡県 浜松市立鏡山小学校
岡山県 倉敷市立旭丘小学校
熊本県 熊本市立松尾西小学校
鹿児島県 曾於市立恒吉小学校

●入選

国土緑化推進機構理事長賞

群馬県 高崎市立岩平小学校
神奈川県 秦野市立北小学校
長野県 坂城町立坂城小学校
広島県 神石高原町立油木小学校
山口県 田布施町立田布施西小学校

◆高等学校◆

●特選

農林水産大臣賞

熊本県 熊本県立八代農業高等学校泉分校

学校環境緑化の部

◆小学校◆

●特選

文部科学大臣賞、日本放送協会会長賞

愛知県 岡崎市立常磐東小学校

●準特選

国土緑化推進機構会長賞

茨城県 稲敷市立古渡小学校
栃木県 上三川町立坂上小学校
熊本県 熊本市立池田小学校

●入選

国土緑化推進機構理事長賞

宮城県 気仙沼市立津谷小学校
秋田県 三種町立湖北小学校
福島県 石川町立南山形小学校
群馬県 高崎市立入野小学校
埼玉県 行田市立須加小学校
滋賀県 東近江市立能登川南小学校
奈良県 王寺町立王寺小学校
鳥取県 鳥取市立大正小学校
山口県 山口市立井関小学校
愛媛県 四国中央市立金生第二小学校
宮崎県 宮崎県立日南くろしお支援学校
鹿児島県 屋久島町立神山小学校

◆中学校◆

●特選

文部科学大臣賞

鹿児島県 肝付町立岸良中学校

●準特選

国土緑化推進機構会長賞

埼玉県 熊谷市立玉井中学校
広島県 東広島市立松賀中学校

●入選

国土緑化推進機構理事長賞

福島県 いわき市立永井中学校
京都府 亀岡市立大成中学校
宮崎県 宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校

◆高等学校◆

●準特選

国土緑化推進機構会長賞

沖縄県 沖縄県立北中城高等学校

協力賞／ノースロップ賞

●団体の部

栃木県 矢板市立西小学校 PTA
愛知県 豊田市立上鷹見小学校 PTA

●個人の部

愛媛県 高田 勉

◇第61回全国植樹祭記念 かながわ未来につなぐ森づくり賞(敬称略)

川又 正人(山北町) 山口 富治(秦野市) 杉山 精一(南足柄市) 佐藤 好延(相模原市)

＊大会テーマ・シンボルマーク・大会ポスター原画入賞者

◇ 第61回全国植樹祭大会テーマ (敬称略)

【最優秀作品】(大会テーマ採用作品)

作 品	氏 名	住 所 等
森が育む あなたの心 森を育む あなたの手	宗像 洋明	横浜市

【優秀作品】

部 門	作 品	氏 名	住 所 等
小学生 低学年	未来へのごそう みどりのふるさと	鈴木 大地	厚木市立依知小学校 3 年
小学生 高学年	広げよう森の再生、地球のために	今村 優花	横浜市立南台小学校 5 年
中学生	始めよう森林再生 手渡そう未来の人達へ	中村 優貴	横浜市立岩崎中学校 1 年
高校生	森の緑は郷土の宝守り伝えよ僕らの手で	塩島 泰裕	横浜市立金沢高等学校 2 年
一 般	森づくり 人と地球のシンフォニー	吉川 弘子	川崎市

募集期間：平成 20 年 2 月 1 日(金)～平成 20 年 3 月 14 日(金) 応募件数：1,481 件

※平成 19 年度応募時

◇ 第61回全国植樹祭シンボルマーク (敬称略)

【最優秀作品】(シンボルマーク採用作品)

愛 称	シンボルマーク	氏 名	住 所 等
かなりんちゃん		河野 通	大阪府

【優秀作品】

部 門	愛 称	シンボルマーク	氏 名	住 所 等
小学生低学年	わかばちゃん		内田 有咲	函嶺白百合学園小学校 2 年
小学生高学年	かなつく林		古山 結季	南足柄市立岩原小学校 4 年
中学生	かなってくん		西野 耀	世田谷区立船橋中学校 2 年
高校生	はっぴーちゃん		斎 史歩	洗足学園高等学校 3 年
一 般	かなりんちゃん		西田 一成	東京都

募集期間：平成 20 年 7 月 1 日(火)～平成 20 年 9 月 5 日(金) 応募件数：1,021 件

※平成 20 年度応募時

◇ 第61回全国植樹祭大会ポスター原画 (敬称略)

画題「温かい緑」

作者：井上 美紀(平成 20 年度応募時 県立小田原城北工業高等学校 3 年)

募集締切：平成 20 年 9 月 5 日(金) 応募件数：560 件

＊第61回全国植樹祭推進組織体制

準備機関

第61回全国植樹祭庁内検討会議(14名)

基本方針検討部会(19名)

(平成 18 年 9 月 11 日設置)
(平成 20 年 1 月 9 日解散)
座 長：県副知事
委 員：県関係部局長

実施機関

第61回全国植樹祭神奈川県実行委員会(126名)

常任委員会(29名)

(平成 20 年 1 月 9 日設置)
(平成 23 年 3 月解散予定)
会 長：県知事
副会長：県議会議長、県副知事、県理事、市長会会長、町村会会長、
(財) かながわトラストみどり財団理事長

専門委員会

- ①植樹専門委員会(10名)
- ②式典専門委員会(11名)
- ③県民運動専門委員会(11名)

全国植樹祭・行幸啓本部(1986名)

行 幸 啓

6 部 13 班 316 名

大会実施

4 部 30 班 1550 名

サテライト会場

1 部 12 班 120 名

(平成 21 年 6 月 1 日)
(平成 22 年 5 月 24 日(大会終了時)解散)
本 部 長：県知事
副本部長：県副知事、県理事、秦野市長、南足柄市長
本 部 員：県職員、秦野市職員、南足柄市職員、森林インストラクター、高校生

＊第61回全国植樹祭神奈川県実行委員会会則

第1章 総 則

(名 称)

第1条 この会は、第61回全国植樹祭神奈川県実行委員会(以下「実行委員会」という。)と称する。

(事務所)

第2条 実行委員会は、事務所を横浜市中区日本大通1に置く。

(目 的)

第3条 実行委員会は、「第61回全国植樹祭」(以下「植樹祭」という。)の総合的な企画・準備を行い、もって県民との協働による森林再生に寄与することを目的とする。

(事 業)

第4条 実行委員会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 植樹祭の運営に必要な総合企画、調整に関すること。
- (2) 植樹祭の式典行事、お手植え行事に関すること。
- (3) 植樹祭の一般参加者記念植樹に関すること。
- (4) 植樹祭の運営に必要な設備等の整備に関すること。
- (5) 植樹祭の招待者等への案内、宿泊、輸送等に関すること。
- (6) 植樹祭に係る広報、公募に関すること。
- (7) その他、植樹祭の目的を達するために必要な事業に関すること。

第2章 組織等

(組 織)

第5条 実行委員会は、会長、副会長、監事及び委員(以下「実行委員」という。)で組織する。

2 実行委員は、別表第1に掲げる職にある者をもって充てる。

(実行委員の職務)

第6条 会長は、実行委員会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。

3 監事は、会計の監査に当たる。

4 委員は、この会則に従い議事の審議をする。

(実行委員の任期)

第7条 実行委員の任期は、実行委員会の目的が達成されたときまでとする。ただし、就任時におけるそれぞれの所属機関又は団体の役職を離れたときは、後任者が残任期間を務めるものとする。

2 会長は、実行委員に特別な事情が生じたときは、その職を解くことができる。

(実行委員の報酬及び旅費)

第8条 実行委員への報酬は、支払わないものとする。

2 実行委員が、実行委員会の依頼に応じ旅行した場合、その他、会長が必要と認めた場合には、神奈川県職員の例に準じ旅費を支給することができる。

第3章 会議等

(会議の種類)

第9条 実行委員会に係る会議は、総会、常任委員会及び専門委員会とする。

(総 会)

第10条 総会は、実行委員をもって構成し、次に掲げる事項を審議し、決定する。

- (1) 会則の制定及び改廃に関すること。
- (2) 植樹祭の企画及び運営の基本事項に関すること。
- (3) 事業計画、予算及び決算に関すること。
- (4) 常任委員会への委任に関すること。
- (5) その他植樹祭の開催に関し重要な事項に関すること。

2 総会は、必要に応じ会長が招集し、その議長となる。

3 総会は、実行委員の過半数の出席をもって成立する。ただし、総会に出席できない者は、あらかじめ通知された事項について代理人にその権限を委任することができる。

4 総会の議事は、出席した実行委員(代理人にその権限を委任した者を含む。)の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 会長は、必要があると認めるときは、総会に実行委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(会長の専決処分)

第11条 会長は、前条第1項各号に掲げる事項について、総会を招集するいとまがないと認めるときは、専決処分をすることができる。

2 会長は、前項の規定により専決処分をしたときは、次の総会に報告しなければならない。

(常任委員会)

第12条 常任委員会は、委員長、副委員長及び委員(以下「常任委員」という。)で構成する。

2 常任委員は、別表第2に掲げる職にある者をもって充てる。

3 常任委員会は、次に掲げる事項について審議し、決定する。

- (1) 総会への付議事項
- (2) 総会から委任された事項
- (3) 緊急に審議し、決定することが必要な事項
- (4) 第10条第1項各号に規定するもの以外で、植樹祭の実施に関し、必要な事項
- (5) その他会長が必要と認める事項

4 常任委員会は、前項第2号、3号及び第5号に掲げる事項を審議し、議決したときは、次の総会にこれを報告しなければならない。

5 第7条各項、第8条各項及び第10条第2項から第5項までの規定は、常任委員会において準用する。この場合において「総会」とあるのは「常任委員会」と、「会長」とあるのは「委員長」と、「実行委員」とあるのは「常任委員」と読み替えるものとする。

(専門委員会)

第13条 専門的事項を調査及び審議するため、実行委員会に専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会で検討した内容は、常任委員会に報告するものとする。

3 専門委員会に関し、必要な事項は、会長が別に定める。

第4章 事務局

(事務局)

第14条 実行委員会の事務を処理するため、第61回全国植樹祭神奈川県実行委員会事務局(以下「事務局」という。)を神奈川県環境農政局内に置く。

2 事務局に、事務局長及びその他の事務局職員を置く。

3 事務局の組織及び運営に関して必要な事項は、この規定に定めるもののほか、会長が別に定める。

第5章 経費及び会計

(会計年度)

第15条 実行委員会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(経 費)

第16条 実行委員会の事業に必要な経費は、負担金及びその他の収入をもって充てる。

(事業計画、予算及び決算)

第17条 実行委員会の事業計画及び収支予算は事務局長が編成し、総会の承認を得なければならない。

2 実行委員会の収支決算は、事務局長が作成し、監事の監査を経て、総会の承認を得なければならない。

3 前2項において、総会を招集するいとまがないと認められるときは、会長の専決処分とすることができる。この場合、次の総会に報告しなければならない。

(財務処理)

第18条 実行委員会の財務処理は、会長が別に定めるもののほか、神奈川県の財務に関する諸規定に準ずるものとする。

第6章 解 散

(解 散)

第19条 実行委員会は、第3条に規定する目的が達成されたとき、総会の議決を経て解散するものとする。

第7章 補 則

(補 則)

第20条 この会則に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

- 1 この会則は、平成20年1月9日から施行する。
- 2 実行委員会設立当初の会計年度は、第15条の規定にかかわらず、実行委員会設立の日から平成20年3月31日までとする。
- 3 会長がやむを得ず必要と認めた経費については、実行委員会による予算の議決前に支出できるものとする。この場合において、当該支出した経費を収支予算案に含めるものとする。

附 則

1 この会則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

1 この会則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

1 この会則は、平成21年6月1日から施行する。

附 則

1 この会則は、平成22年4月1日から施行する。

＊第61回全国植樹祭神奈川県実行委員会委員名簿（順不同、敬称略）

区 分	各団体における役職	氏 名	
会 長	神奈川県知事	松沢 成文	
副 会 長 (6 名)	神奈川県議会議長	国吉 一夫	
	神奈川県副知事	古尾谷 光男	
	神奈川県理事	黒川 雅夫	
	神奈川県市長会会長	服部 信明	
	神奈川県町村会会長	間宮 恒行	
	(財)かながわトラストみどり財団理事長	新堀 豊彦	
	神奈川県議会議長	館盛 勝弘	
委 員 (116 名)	県議会	神奈川県議会環境農政常任委員会委員長	鈴木 ひでし
		神奈川県議会環境農政常任委員会副委員長	小島 健一
		神奈川県議会議員(秦野市選出)	久保寺 邦夫
		神奈川県議会議員(秦野市選出)	安藤 慶
		神奈川県議会議員(南足柄市選出)	川上 賢治
		神奈川県市議会議長会会長	志澤 清
	市町村	神奈川県町村議会議長会会長	本杉 博是
		秦野市長	古谷 義幸
		南足柄市長	沢 長生
		秦野市議会議長	高橋 文雄
		南足柄市議会議長	服部 俊作
		横浜市長	林 文子
		川崎市長	阿部 孝夫
		横須賀市長	吉田 雄人
		藤沢市長	海老根 靖典
		小田原市長	加藤 憲一
		相模原市長	加山 俊夫
		厚木市長	小林 常良
		伊勢原市長	長塚 幾子
		海老名市長	内野 優
		葉山町長	森 英二
		山北町長	瀬戸 孝夫
		開成町長	露木 順一
		湯河原町長	富田 幸宏
		国	東京神奈川森林管理署長
	森林関係	神奈川県森林審議会会長	木平 勇吉
		神奈川県森林組合連合会名誉会長	久保寺 邦夫
神奈川県林業協会会長		山口 久文	
神奈川県森林協会会長		沢 長生	
神奈川県山林種苗協同組合理事長		濱野 進	
神奈川県木材業協同組合連合会代表理事会長		落合 公信	
NPO法人かながわ森林インストラクターの会全国植樹祭担当理事		柏倉 紘	
神奈川県建具協同組合代表理事		田中 利男	
農業関係等	神奈川県農業協同組合中央会会長	石井 清	
	全国農業協同組合連合会神奈川県本部長	加藤 正栄	
	(社)神奈川県園芸協会会長	三好 吉清	
	(社)神奈川県造園業協会会長	岸本 和好	
	(社)神奈川県畜産会会長	石井 清	
	神奈川県漁業協同組合連合会代表理事会長	高橋 征人	
環境関係	神奈川県自然環境保全審議会会長	三好 吉清	
	NPO 法人神奈川県自然保護協会副理事長	青砥 航次	
	(社)神奈川県環境保全協議会会長	本田 聖二	
	かながわ地球環境保全推進会議会長	浜中 裕徳	
	丹沢大山自然再生委員会委員長	木平 勇吉	
経済団体	(社)神奈川県商工会議所連合会会頭	佐々木 謙二	
	神奈川県商工会連合会会長	関戸 昌邦	
	神奈川県中小企業団体中央会会長	森 洋	
	(社)神奈川県経営者協会会長	高橋 忠生	
	(社)神奈川県経済同友会代表幹事	石渡 恒夫	
	(社)神奈川県観光協会会長	斎藤 文夫	
観光関係	(財)神奈川県公園協合理事長	小山 剛司	
	教育関係	神奈川県公立小学校長会会長	渡邊 堅護
		神奈川県公立中学校長会会長	金井 由明
		神奈川県立高等学校長会会長	鈴木 彰
		神奈川県市立高等学校長会会長	田村 泰行

区 分		各団体における役職		氏 名	
委 員 (116 名)	教育関係	神奈川県私立小学校協合理事長		中尾 正信	
		神奈川県私立中学高等学校協合理事長		工藤 誠一	
		神奈川県特別支援学校長会会長		中村 秀雄	
		神奈川県PTA協議会会長		新川 勉	
	輸送関係等	(社)神奈川県バス協会会長		大谷 一彦	
		(社)神奈川県タクシー協会会長		大野 清一	
		東海旅客鉄道(株)代表取締役社長		山田 佳臣	
		小田急電鉄(株)取締役社長		大須賀 頼彦	
		伊豆箱根鉄道(株)取締役社長		若林 久	
		郵便事業(株)南関東支社長		渡邊 元一郎	
		衛生消防関係	神奈川県医師会会長		大久保 吉修
	(社)神奈川県看護協会会長		平澤 敏子		
	(財)神奈川県消防協会会長		嶋村 尚美		
	青少年・女性・福祉関係等	(社福)神奈川県社会福祉協議会会長		林 英樹	
		(財)神奈川県老人クラブ連合会理事長		井上 勇	
		かながわ女性会議代表		上條 茉莉子	
		(社)神奈川県青少年協合理事長		吉村 恭二	
		(財)神奈川県身体障害者連合会会長		横地 甲子夫	
		箱根みどりの少年団団長		遠藤 秀則	
		南足柄緑の少年団団長		渡邊 英夫	
		中山緑の少年団団長		三好 吉清	
		相模原市みどりの少年団団長		藤田 清	
		秦野みどりの少年団団長		相原 宗由	
		かまくら緑の探偵団団長		大屋 進	
		日本ボーイスカウト神奈川連盟理事長		伊藤 幸夫	
		(社)ガールスカウト日本連盟神奈川県支部長		力丸 春子	
		NPO法人丹沢自然保護協合理事長		中村 道也	
		NPO法人緑のダム北相模		大坪 浩一	
		いせはら森の会会長		仲野 三男	
		はだの里山保全再生活動団体等連絡協議会会長		古谷 角造	
		南足柄市林業協議会会長		清水 稔	
	報道関係	(株)神奈川新聞社代表取締役社長		堀田 憲司	
		日本放送協会横浜放送局長		壺岐 哲平	
		(株)テレビ神奈川代表取締役会長		牧内 良平	
		(株)朝日新聞社横浜総局長		長 典俊	
		(株)毎日新聞社横浜支局長		丸山 雅也	
		(株)読売新聞東京本社横浜支局長		佐伯 和宏	
		(株)産業経済新聞社横浜総局長		風間 正人	
		東京新聞横浜支局長		加藤 行平	
		(株)日刊工業新聞社横浜総局長		星川 博樹	
		(社)共同通信社横浜支局長		遠藤 一弥	
		(株)時事通信社横浜総局長		駒野 利治	
		(株)アール・エフ・ラジオ日本代表取締役社長		新井 修一郎	
(株)東京放送ホールディングス常務取締役		衣笠 幸雄			
(株)フジテレビジョン横浜支局長		前田 充			
(株)テレビ東京総務局次長兼総務部長		岩瀬 浩通			
横浜エフエム放送(株)代表取締役社長		藤木 幸夫			
県関係		神奈川県政策局長		吉川 伸治	
		神奈川県総務局長		笠井 郁彦	
	神奈川県安全防災局長		北村 俊夫		
	神奈川県県民局長		水田 秀子		
	神奈川県環境農政局長		石黒 順一		
	神奈川県保健福祉局長		中島 栄一		
	神奈川県商工労働局長		藤井 邦彦		
	神奈川県県土整備局長		池守 典行		
	神奈川県議会議長		笠原 達夫		
	神奈川県教育委員会教育長		藤井 良一		
	神奈川県警察本部長		渡辺 巧		
	神奈川県湘南地域県政総合センター所長		北村 明		
	神奈川県足柄上地域県政総合センター所長		蛭名 喜代作		
	監 事 (3 名)	神奈川県会計管理者		佐藤 光徳	
		秦野市副市長		高橋 生志雄	
南足柄市副市長		瀬戸 昇			

※平成 22 年 5 月 23 日現在

＊第61回全国植樹祭神奈川県実行委員会常任委員会委員名簿（順不同、敬称略）

区 分		各 団 体 に お け る 役 職	氏 名
委 員 長		神奈川県副知事	古尾谷 光男
副 委 員 長		(財)かながわトラストみどり財団専務理事	伊藤 正宏
委 員 (27 名)	県議会	神奈川県議会環境農政常任委員会委員長	鈴木 ひでし
	市町村	秦野市環境産業部長	高橋 昌和
		南足柄市産業建設部長	古谷 俊郎
	森林関係	神奈川県森林組合連合会名誉会長	久保寺 邦夫
		神奈川県木材業協同組合連合会代表理事会長	落合 公信
		NPO法人かながわ森林インストラクターの会全国植樹祭担当理事	柏倉 紘
	農業関係	神奈川県農業協同組合中央会参事	瀬戸 浩一
	関係団体	丹沢大山自然再生委員会委員長	木平 勇吉
		(社)神奈川県商工会議所連合会専務理事	横田 和浩
		神奈川県商工会連合会会長	関戸 昌邦
		(財)神奈川県公園協会専務理事	小林 弘
		神奈川県公立小学校長会会長	渡邊 堅護
		神奈川県公立中学校長会副会長	木村 長利
		(社福)神奈川県社会福祉協議会事務局長	鈴木 和夫
		かながわ女性会議副代表	一戸 法子
		(社)神奈川県青少年協会理事長	吉村 恭二
		(株)神奈川新聞社取締役営業局長	並木 裕之
		日本放送協会横浜放送局放送部長	朝比奈 正彦
		(株)テレビ神奈川営業局長	中村 行宏
	県関係	神奈川県政策局長	吉川 伸治
		神奈川県総務局長	笠井 郁彦
		神奈川県環境農政局長	石黒 順一
		神奈川県県土整備局長	池守 典行
		神奈川県教育委員会教育長	藤井 良一
		神奈川県警察本部長	渡辺 巧
		神奈川県湘南地域県政総合センター所長	北村 明
		神奈川県足柄上地域県政総合センター所長	蛭名 喜代作

※平成 22 年 5 月 23 日現在

＊第61回全国植樹祭専門委員会等委員名簿（敬称略）

●第61回全国植樹祭 植樹専門委員会

平成 20 年 1 月 31 日設置

役 職	氏 名	所属機関・団体名
委 員 長	齋藤 光弘	神奈川県環境農政部次長
副委員長	高橋 長三郎	(財)かながわトラストみどり財団事務局次長
委 員	村上 雄秀	(財)地球環境戦略研究機関国際生態学センター上席研究員
	青砥 航次	NPO 法人 神奈川県自然保護協会副理事長
	蓮場 良之	神奈川県森林組合連合会代表理事専務
	石田 哲夫	神奈川県山林種苗協同組合専務理事
	大津 徹	秦野市環境産業部森林づくり課長
	加藤 要司	南足柄市産業建設部全国植樹祭推進課長
	勝山 輝男	神奈川県立生命の星地球博物館専門学芸員
	岩見 光一	神奈川県自然環境保全センター研究部長

●第61回全国植樹祭 式典専門委員会

平成 20 年 4 月 15 日設置

役 職	氏 名	所属機関・団体名
委 員 長	水田 秀子	神奈川県環境農政部副部長
副委員長	伊藤 正宏	(財)かながわトラストみどり財団事務局長
委 員	岡崎 松恵	NPO 法人 S T スポット横浜理事
	石井 一躬	神奈川県民俗芸能保存協会会長
	白鳥 元巳	東高根森林公園フォーラム代表
	木平 勇吉	東京農工大学名誉教授
	田村 律行	(株)神奈川新聞社報道専任部長
	松下 雅雄	秦野市市民推進会議市民推進部会長
	鈴木 良一	南足柄市森林ボランティア協議会会長
	大津 徹	秦野市環境産業部森林づくり課長
	加藤 要司	南足柄市産業建設部全国植樹祭推進課長

●第61回全国植樹祭 県民運動専門委員会

平成 20 年 4 月 15 日設置

役 職	氏 名	所属機関・団体名
委 員 長	初瀬川 政典	神奈川県環境農政部次長
副委員長	伊藤 正宏	(財)かながわトラストみどり財団事務局長
委 員	柏倉 紘	NPO 法人 かながわ森林インストラクターの会担当理事
	後藤 常勝	(社)かながわ森林づくり公社専務理事
	小山 文子	(社)ガールスカウト日本連盟神奈川支部長
	奥津 昌哉	丹沢大山ボランティアネットワーク世話人会代表
	中村 道也	NPO 法人 丹沢自然保護協会理事長
	佐野 友保	日本ボーイスカウト神奈川連盟理事長
	大津 徹	秦野市環境産業部森林づくり課長
	加藤 要司	南足柄市産業建設部全国植樹祭推進課長
	笠原 陽子	神奈川県教育局子ども教育支援課課長代理

●第61回全国植樹祭 大会テーマ審査委員会

平成 20 年 3 月 1 日設置

役 職	氏 名	所属機関・団体名
委 員 長	佐藤 光徳	神奈川県環境農政部長
副委員長	伊藤 正宏	(財)かながわトラストみどり財団事務局長
委 員	加藤 廉	(株)神奈川新聞社編集局長
	壺岐 哲平	日本放送協会横浜放送局長
	島巡 陽一	神奈川県高等学校文化連盟会長

●第61回全国植樹祭 大会ポスター原画コンクール審査委員会

平成 20 年 8 月 26 日設置

役 職	氏 名	所属機関・団体名
委 員 長	佐藤 光徳	神奈川県環境農政部長
副委員長	伊藤 正宏	(財)かながわトラストみどり財団専務理事
委 員	志摩 尚平	神奈川県教育局子ども教育支援課長
	中岡 正廣	神奈川県教育局高校教育課長

●第61回全国植樹祭 シンボルマーク審査委員会

平成 20 年 9 月 11 日設置

役 職	氏 名	所属機関・団体名
委 員 長	佐藤 光徳	神奈川県環境農政部長
副委員長	伊藤 正宏	(財)かながわトラストみどり財団専務理事
委 員	森山 明子	武蔵野美術大学教授
	柏原 政彦	(社)かながわデザイン機構副理事長
	坂部 政子	神奈川県産業技術短期大学校指導部職員

＊全国植樹祭・行幸啓本部(大会実施本部)組織表

部 名	班 名	分 掌 事 務
本部長	知事	
副本部長	副知事、理事、秦野市長、南足柄市長	
行幸啓調整部	総務企画班	行幸啓事務の総括、御日程の調整、宮内庁及び行幸啓先等関係機関との連絡調整、その他、他班の分掌に属さないこと 等
	車両班	行幸啓関係車両の調達及び配車、車両運行に関すること 等
	接遇班	お泊所及び御休所等における行幸啓関係者への接遇に関すること 等
	駐車場班	行幸啓関係車両の駐車に係る車両誘導整理に関すること 等
	道路管理班	御順路の整備及び美化に関すること 等
	お荷物班	お泊所でのお荷物の受領及び輸送に関すること 等
安全防災部	安全防災班	気象情報及び危機管理に関する情報の収集及び提供に関すること 等
物産部	物産班	物産展示会場の運営に関すること 等
植樹祭総括部	管理調整班	大会総合調整 等
	総務班	大会の進行管理、植樹祭担当各部との調整、電話等の対応に関すること 等
	広報記録班	記録写真の撮影、報道機関の受付・誘導に関すること 等
	レセプション班	レセプション会場及び作品御覧会場の運営に関すること 等
秦野会場運営部	式典班	式典の進行管理に関すること 等
	お手播き班	お手播き行事の運営に関すること 等
	会場誘導班	招待者の誘導・案内に関すること 等
	施設管理班	会場内施設・用具の管理、消防・防災・警備・避難誘導、会場美化に関すること 等
	入場ゲート班	入場ゲートの運営に関すること 等
	植樹会場班	植樹会場の運営に関すること 等
	サービス広場班	サービス広場の運営に関すること 等
	医療衛生班	救護所の運営、飲食物販売所等の衛生指導と点検に関すること 等
	関係施設班	県有土木施設の管理 等
	駐車場班	車両誘導に関すること 等
南足柄会場運営部	式典班	式典の進行管理に関すること 等
	式典植樹班	お手植え・代表者記念植樹行事の運営に関すること 等
	会場誘導班	招待者の誘導・案内に関すること 等
	施設管理班	会場内施設・用具の管理、消防・防災・警備・避難誘導、会場美化に関すること 等
	入場ゲート班	入場ゲートの運営に関すること 等
	植樹会場班	植樹会場の運営に関すること 等
	サービス広場班	サービス広場の運営に関すること 等
	医療衛生班	救護所の運営、飲食物販売所等の衛生指導と点検に関すること 等
	関係施設班	県有土木施設の管理 等
	駐車場班	車両誘導に関すること 等
輸送管理部	輸送管理班	バス総合連絡調整、指定集合地の運営に関すること 等
	バス基地班	バス基地の運営、バスの誘導・管理に関すること 等
	県外添乗班	県外招待者の受付・案内、バスの添乗に関すること 等
	県内添乗班	県内招待者の受付・案内、バスの添乗に関すること 等
	場外誘導班	交差点(分岐点)等での車両誘導に関すること 等
	特別接伴班	特別招待者の日程調整、接伴に関すること 等
サテライト会場運営部	各会場班	サテライト会場の運営に関すること 等
広報部	広報班	報道機関との連絡調整、取材箇所の選定及び設営、合同記者会見の運営に関すること 等
奉迎部	特別奉送迎班	特別奉送迎者への対応に関すること 等
	一般奉送迎班	一般奉送迎者への対応に関すること 等
救護・衛生部	救護班	行幸啓先における救護所の設置及び運営に関すること 等
	衛生班	行幸啓先における食品衛生、環境衛生、防疫に関すること 等

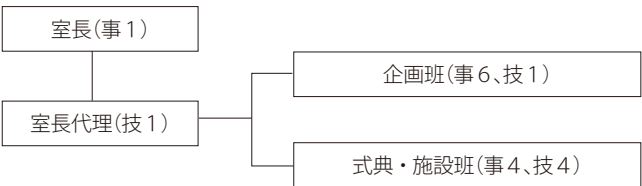
＊第61回全国植樹祭 開催準備組織の変遷、業務担当職員

◇ 第61回全国植樹祭 開催準備組織の変遷

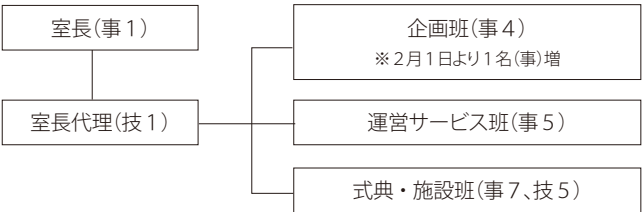
- 平成 19 年度(6月1日)
環境農政部森林課全国植樹祭担当(4名)



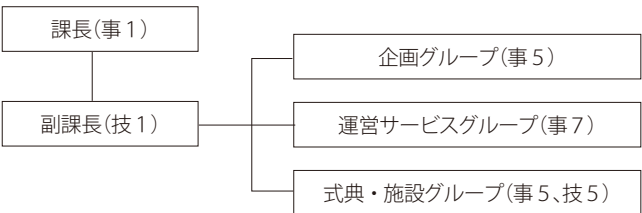
- 平成 20 年度(4月1日)
環境農政部森林課全国植樹祭推進室(17名)



- 平成 21 年度(4月1日)
環境農政部森林課全国植樹祭推進室(23名)



- 平成 22 年度(4月1日)
環境農政局水・緑部全国植樹祭推進課(24名)



◇ 第61回全国植樹祭 業務担当職員

平成 22 年 5 月 23 日現在

【神奈川県】

●環境農政局水・緑部全国植樹祭推進課

担 当	職 名	氏 名
企画グループ	課長	下元 省吾
	副課長	稲垣 敏明
	グループリーダー	堀越 裕司
	副主幹	樋口 英二
	副主幹	菊池 寿子
	主査	松田 広昭
運営サービスグループ	主事	清水 ありさ
	グループリーダー	関山 恵司
	副主幹	能勢 悦子
	主査	東出 貴幸
	主査	前橋 雅紀
	主事	有田 容子
式典・施設グループ	主事	山口 剛史
	主事	高崎 羽衣
	グループリーダー	浅岡 正俊
	副主幹	松永 潤子
	副技幹	木村 敏
	副技幹	厚沢 明宏
	主査	小島 康弘
	主査	松本 純
	主査	菊池 琢磨
	主査	江指 茂樹
	主査	河田 智
	主事	岡原 匡克

●在籍職員(神奈川県)

任 期	職 名	氏 名
H20.4.1～H22.3.31	主査	小山 由美子

【秦野市】

●環境産業部全国植樹祭推進課

職 名	氏 名
参事(兼)課長	大津 徹
主任主事	塩田 健介
主事	北村 浩二
主事補	廣田 達也

【南足柄市】

●産業建設部全国植樹祭推進課

職 名	氏 名
参事(兼)課長	加藤 要司
課長補佐	中村 英二
主幹	梶 元興

＊第61回全国植樹祭開催経過

平成 17 年度	期 日	内 容
	H 18 年 2 月 20 日	県議会 2 月定例会で、知事が平成 22 年度の全国植樹祭招致を表明
平成 18 年度	期 日	内 容
	H 18 年 5 月 30 日	(社)国土緑化推進機構へ第 61 回（平成 22 年）全国植樹祭の開催を申請
	H 18 年 8 月 29 日	平成 22 年の本県開催内定（(社)国土緑化推進機構理事会）
	H 18 年 9 月 11 日	庁内検討会議（第 1 回）
	H 18 年 11 月 30 日	基本方針検討部会（第 1 回）
平成 19 年度	H 19 年 3 月 27 日	基本方針検討部会（第 2 回）
	H 19 年 4 月 16 日	庁内検討会議（第 2 回）
	H 19 年 4 月 23 日	庁内検討会議（会場候補地 現地調査）
	H 19 年 6 月 24 日	第 58 回全国植樹祭（北海道）
	H 19 年 7 月 6 日	庁内検討会議（第 3 回）
	H 19 年 8 月 6 日	庁内検討会議（第 4 回）
	H 19 年 8 月 14 日	第 61 回全国植樹祭会場候補地の決定（県としての候補地決定）
	H 19 年 8 月 29 日	平成 22 年の本県開催決定（(社)国土緑化推進機構理事会）
	H 19 年 9 月 7 日	第 61 回全国植樹祭開催会場の決定（(社)国土緑化推進機構・県による会場決定協議） 第 61 回全国植樹祭基本方針の決定
	H 19 年 11 月 12 日	第 61 回全国植樹祭神奈川県実行委員会植樹準備会の設置
	H 19 年 11 月 17 日	苗木のホームステイに使用するどんぐり採取イベント（秦野会場）
	H 19 年 11 月 23 日	苗木のホームステイに使用するどんぐり採取イベント（南足柄会場）
	H 20 年 1 月 9 日	第 61 回全国植樹祭神奈川県実行委員会設立総会
	H 20 年 1 月 31 日	第 1 回植樹専門委員会
	H 20 年 2 月 1 日	大会テーマ募集開始（3/14 まで）
	H 20 年 2 月 26 日	第 2 回植樹専門委員会（現地調査）
	H 20 年 3 月 17 日	全国植樹祭だより「かながわ未来の森」（創刊号）の発行
	H 20 年 3 月 25 日	第 3 回植樹専門委員会（最終）
	H 20 年 3 月 28 日	サテライト会場設置市町村の決定
平成 20 年度	期 日	内 容
	H 20 年 4 月 15 日	第 1 回県民運動専門委員会 第 1 回式典専門委員会
	H 20 年 4 月 16 日	大会テーマ審査委員会
	H 20 年 4 月 24 日	第 61 回全国植樹祭神奈川県実行委員会第 1 回常任委員会
	H 20 年 4 月 30 日	第 1 回県・2 市連絡協議会
	H 20 年 5 月 8 日	第 2 回式典専門委員会
	H 20 年 5 月 12 日	第 61 回全国植樹祭神奈川県実行委員会第 2 回総会
	H 20 年 5 月 28 日	第 1 回サテライト会場連絡協議会
	H 20 年 6 月 11 日	第 2 回県民運動専門委員会
	H 20 年 6 月 15 日	第 59 回全国植樹祭（秋田県）
	H 20 年 6 月 27 日	全国植樹祭だより「かながわ未来の森」（第 2 号）の発行
	H 20 年 7 月 1 日	シンボルマーク、ポスター原画募集開始（9/5 まで）
	H 20 年 7 月 23 日～7 月 24 日	後催県指導会議（福井県）
	H 20 年 7 月 26 日	第 1 回森のリレーフェスタ（相模原市 相模湖畔林等）
	H 20 年 8 月 27 日	第 3 回式典専門委員会
	H 20 年 9 月 12 日	第 3 回県民運動専門委員会
	H 20 年 9 月 29 日	全国植樹祭だより「かながわ未来の森」（第 3 号）の発行
	H 20 年 10 月 3 日	大会ポスター原画第 1 次審査委員会
	H 20 年 10 月 10 日	シンボルマーク審査委員会
	H 20 年 10 月 15 日	大会ポスター原画第 2 次審査委員会
	H 20 年 10 月 18 日	第 2 回森のリレーフェスタ（松田町 やどりき水源林）

	期 日	内 容
平成 20 年度	H 20 年 10 月 20 日	第 2 回サテライト会場連絡協議会
	H 20 年 10 月 28 日	第 4 回式典専門委員会・第 4 回県民運動専門委員会 合同検討会
	H 20 年 11 月 1 日	第 3 回森のリレーフェスタ（海老名市 海老名市役所前広場等）
	H 20 年 11 月 12 日	シンボルマーク、大会ポスター原画の決定
	H 20 年 11 月 14 日	第 2 回県・2 市連絡協議会
	H 20 年 11 月 15 日	大会テーマ、シンボルマーク表彰式
	H 20 年 11 月 16 日	大会ポスター原画表彰式
	H 20 年 11 月 19 日	第 61 回全国植樹祭神奈川県実行委員会第 2 回常任委員会
	H 20 年 12 月 4 日	サテライト会場設置市町追加決定（藤沢市、伊勢原市、山北町）
	H 20 年 12 月 15 日	全国植樹祭だより「かながわ未来の森」（第 4 号）の発行
	H 21 年 2 月 6 日	サテライト会場設置市町追加決定（湯河原町）
	H 21 年 2 月 13 日	第 3 回サテライト会場連絡協議会
	H 21 年 2 月 18 日	第 61 回全国植樹祭基本計画の決定（（社）国土緑化推進機構特別委員会で承認）
	H 21 年 3 月 20 日	第 4 回森のリレーフェスタ（雨天中止）
	H 21 年 3 月 24 日	全国植樹祭だより「かながわ未来の森」（第 5 号）の発行
	H 21 年 3 月 30 日	第 5 回県民運動専門委員会

	期 日	内 容
平成 21 年度	H 21 年 4 月 21 日	第 61 回全国植樹祭神奈川県実行委員会第 3 回常任委員会
	H 21 年 4 月 30 日	第 61 回全国植樹祭神奈川県実行委員会第 3 回総会
	H 21 年 5 月 24 日	第 61 回全国植樹祭プレ大会
	H 21 年 6 月 1 日	全国植樹祭・行幸啓本部会議（第 1 回）
	H 21 年 6 月 7 日	第 60 回全国植樹祭（福井県）
	H 21 年 6 月 14 日	かながわジュニア・フォレスター教室第 1 回「森を知ろう」
	H 21 年 6 月 30 日	全国植樹祭だより「かながわ未来の森」（第 6 号）の発行
	H 21 年 7 月 13 日	キャラバンカー「かなりんちゃん号」の出発式
	H 21 年 7 月 22 日～7 月 23 日	後催県指導会議（神奈川県主催）
	H 21 年 8 月 2 日～8 月 4 日	かながわジュニア・フォレスター教室第 2 回「森で暮らそう」
	H 21 年 8 月 20 日	第 4 回サテライト会場連絡協議会
	H 21 年 8 月 27 日	第 61 回全国植樹祭開催日決定（（社）国土緑化推進機構理事会）
	H 21 年 9 月 5 日	第 5 回森のリレーフェスタ（箱根町 芦ノ湖西岸歩道）
	H 21 年 9 月 8 日	全国植樹祭・行幸啓本部会議（第 2 回）
	H 21 年 9 月 18 日	全国植樹祭だより「かながわ未来の森」（第 7 号）の発行
	H 21 年 9 月 26 日	第 6 回森のリレーフェスタ（1/3）（川崎市 新鶴見操車跡地）
	H 21 年 9 月 28 日	第 1 回大会弁当企画委員会（名称、食材、容器の選定）
	H 21 年 10 月 6 日	第 5 回式典専門委員会・第 6 回県民運動専門委員会 合同検討会（最終）
	H 21 年 10 月 10 日	カウントダウンイベント（横浜市赤レンガ倉庫） ・カウントダウンボードの除幕式 ・大会参加者募集開始（11/20 まで） ・大会テーマソング「森へ行こう!（白井貴子）」の発表
	H 21 年 10 月 18 日	かながわジュニア・フォレスター教室第 3 回「森を食べよう」
	H 21 年 10 月 19 日	第 61 回全国植樹祭神奈川県実行委員会第 4 回常任委員会
	H 21 年 10 月 20 日	第 6 回森のリレーフェスタ（2/3）（横浜市 県立三ツ池公園）
	H 21 年 10 月 24 日	第 6 回森のリレーフェスタ（3/3）（川崎市立古川小学校）
	H 21 年 10 月 29 日	第 2 回大会弁当企画委員会
	H 21 年 11 月 27 日	第 3 回大会弁当企画委員会 全国植樹祭・行幸啓本部会議（第 3 回）
	H 21 年 12 月 10 日	第 4 回大会弁当企画委員会
	H 21 年 12 月 15 日	全国植樹祭だより「かながわ未来の森」（第 8 号）の発行
	H 21 年 12 月 24 日	全国植樹祭・行幸啓本部連絡調整会議（班長会議）（第 1 回）
	H 22 年 1 月 11 日	かながわジュニア・フォレスター教室第 4 回「森で遊ぼう」
	H 22 年 1 月 19 日	第 5 回大会弁当企画委員会

	期 日	内 容
平成 21 年度	H 22 年 1 月 25 日	全国植樹祭・行幸啓本部連絡調整会議（班長会議）（第 2 回）
	H 22 年 2 月 6 日	サテライト会場（湯河原町）
	H 22 年 2 月 7 日	第 7 回森のリレーフェスタ（厚木市 鷺尾山）
	H 22 年 2 月 12 日	第 61 回全国植樹祭実施計画の決定（（社）国土緑化推進機構特別委員会で承認）
	H 22 年 2 月 22 日	第 6 回大会弁当企画委員会（最終）
	H 22 年 3 月 13 日	サテライト会場（横浜市）
	H 22 年 3 月 18 日	全国植樹祭・行幸啓本部連絡調整会議（班長会議）（第 3 回）
	H 22 年 3 月 20 日	サテライト会場（小田原市 ふるさとの森会場）
	H 22 年 3 月 24 日	全国植樹祭だより「かながわ未来の森」（第 9 号）の発行
	H 22 年 3 月 28 日	式典確認会（いわゆる「式典リハーサル」）の実施
	H 22 年 3 月 29 日	第 61 回全国植樹祭神奈川県実行委員会第 4 回総会
	期 日	内 容
平成 22 年度	H 22 年 4 月 3 日	サテライト会場（相模原市）
	H 22 年 4 月 7 日	全国植樹祭・行幸啓本部会議（第 4 回）（最終）
	H 22 年 4 月 24 日	サテライト会場（厚木市）
	H 22 年 4 月 25 日	総合リハーサルの実施
	H 22 年 4 月 29 日	サテライト会場（小田原市 わんぱくらんど会場） サテライト会場（山北町）
	H 22 年 5 月 2 日	サテライト会場（横須賀市・葉山町）
	H 22 年 5 月 8 日	サテライト会場（伊勢原市）
	H 22 年 5 月 16 日	サテライト会場（川崎市）
	H 22 年 5 月 22 日	サテライト会場（藤沢市） 第 61 回全国植樹祭レセプション（箱根町） 第 39 回全国林業後継者大会（伊勢原市） 前日リハーサルの実施
	H 22 年 5 月 23 日	第 61 回全国植樹祭の開催 サテライト会場（海老名市） サテライト会場（開成町）
	H 22 年 7 月 29 日～7 月 30 日	後催県指導会議（和歌山県主催）
	H 22 年 8 月 22 日～8 月 23 日	かながわジュニア・フォレスター教室第 1 回「森で暮らそう」
	H 22 年 9 月 10 日	全国植樹祭だより「かながわ未来の森」（最終号）の発行
	H 22 年 10 月 3 日	かながわジュニア・フォレスター教室第 2 回「森を知ろう」
	H 22 年 11 月 14 日	かながわジュニア・フォレスター教室第 3 回「森で遊ぼう」
	H 23 年 1 月 9 日～1 月 10 日	かながわジュニア・フォレスター教室第 4 回「未来の森を考えよう」
	期 日	内 容
今後の主な予定	H 23 年 3 月 24 日	第 61 回全国植樹祭神奈川県実行委員会第 5 回総会
	H 23 年 3 月 31 日	第 61 回全国植樹祭神奈川県実行委員会の解散

第61回全国植樹祭記録誌

森が育む あなたの心 森を育む あなたの手

発 刊 平成23年2月
 編 集 第61回全国植樹祭神奈川県実行委員会
 発 行 神奈川県
 〒231-8588 横浜市中区日本大通1
 制 作 株式会社神奈川新聞社



大会ポスター原画 画題「温かい緑」